貸金業利用者に関する調査・研究

＜調査結果報告書＞

2023年3月31日

株式会社バルク

目次

	P-
◆ 調査概要	2
◆ 調査結果のまとめ	8
◆ 無登録業者（ヤミ金融）利用状況のまとめ	20
◆ 事業主向け調査のまとめ	24
◆ キャッシュレス決済のための貸金利用状況まとめ	29
◆ 無登録ファクタリング事業者利用状況のまとめ	33
◆ 貸付自粛制度の認知・利用状況のまとめ	36
◆ ギャンブル等を目的とした借入経験者のまとめ	40
◆ 多重債務者相談強化キャンペーンのまとめ	44

【調査概要】 1. 調査設計

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	GMOリサーチ（株式会社バルク提携）　ネットモニター
調査地域	全国
調査対象	・18～70代の男女 ・本人または家族が以下の職業に従事している場合は対象外 出版・印刷関連、マスコミ関連（新聞・放送業等）、広告・市場調査、 金融・保険・証券
調査期間	□スクリーニング調査　2023年2月9日（木）～2月21日（火） ※数回の追加配信を実施 □本調査　2023年2月22日（水）～3月6日（月）
調査設計	□スクリーニング調査：　回収目標サンプル数　最大70,000サンプル ＜グループ1＞ 性別／年代／エリアで母集団準拠を行った50,000サンプル程度 ※母集団準拠については、令和2年度の国勢調査結果を母集団として使用 ＜グループ2＞「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」 約20,000サンプル程度 □本調査： 回収目標サンプル数：5,000サンプル程度 ＜グループA＞ 3年以内借入経験者 3,000サンプル ＜グループB＞ 3年以内借入経験者以外 2,000サンプル
有効回収 サンプル数	□スクリーニング調査 ＜グループ1＞ 性別／年代／エリアで母集団準拠を行った、50,343サンプル ＜グループ2＞「農林漁業」112、「専門職」468、「個人事業主」2,157、「会社員」13,810、「派遣・契約社員」1,824、「経営者・役員」230、「公務員」144、その他1,305　計20,050サンプル □本調査 ＜グループA＞ 3年以内借入経験者　2,452サンプル うち＜グループ2＞由来　768サンプル ＜グループB＞ 3年以内借入経験者以外　2,387サンプル ＜グループC＞ 事業主　472サンプル（「農林漁業」27サンプル、「個人事業主」342サンプル、 「経営者・役員」103サンプル）

【調査概要】 2. 本調査有効回収数（ウェイトバック前）

■ 本報告書では、基本的に下表の「人口構成比準拠スクリーニング」※１ベースに分析を行っている。

■ ただし、職業別に分析を行う際にのみ、「人口構成比準拠スクリーニング」に「追加有職者サンプル」※２を加えたサンプルをベースとしている。

※１「人口構成比準拠スクリーニング」とは、市場の構成を反映させるため、スクリーニング時に性別／年代 ／エリア（地域）別に市場人口構成比に準じた割付を行い回収したサンプルです。ただし人口構成比に一部欠損が生じたため、ウェイトバックで調整（調整後のサンプル構成は次頁参照）を行っている。

※２「追加有職者サンプル」とは、職業別分析の際に安定したサンプル数を確保するため、人口構成比準拠スクリーニングとは別枠でスクリーニングを行い獲得したサンプルです。

	人口構成比準拠スクリーニング					追加有職者スクリーニング	本調査回収合計	
	小計	３年以内借入経験者	３年以内借入経験者以外			３年以内借入経験者		うち３年以内借入経験あり計
				うち　３年以前借入経験あり	うち借入経験なし			
全体	4071	1684	2387	217	2170	768	6241	2452
会社員	1534	861	673	62	611	531	2145	1392
経営者・役員	84	42	42	6	36	19	120	61
個人事業主	259	122	137	29	108	83	367	205
公務員（教職員含む）	121	59	62	6	56	8	177	67
専門職（個人事業主は除く）	62	19	43	6	37	20	99	39
農林漁業	21	13	8	1	7	6	28	19
派遣・契約社員	190	91	99	14	85	75	275	166
パート・アルバイト・フリーター	486	193	293	20	273	14	759	207
専業主婦／主夫	452	60	392	25	367	3	819	63
無職	707	149	558	45	513	5	1220	154
学生	119	62	57	0	57	2	176	64
その他	36	13	23	3	20	2	56	15

【調査概要】 3. 分析サンプル構成（ウェイトバック後）

■ 「人口構成比準拠スクリーニング」からのサンプルは、地域・性・年代別のセルの人口構成比に対し過剰および欠損が生じたため、ウェイトバックにより修正を行っている。

■ 修正後のサンプル構成は下記となる。

※ ウェイトバック（重みづけ）を行っているため四捨五入の関係上、セルの見た目の人数の合計が全体/小計の見た目の合計と一致しない場合がある。

	人口構成比準拠スクリーニング					追加有職者スクリーニング	本調査回収合計	
	小計	３年以内借入経験者	３年以内借入経験者以外			３年以内借入経験者		うち３年以内借入経験あり計
				うち　３年以前借入経験あり	うち借入経験なし			
全体	4,025	1,654	2,371	215	2,156	768	6,181	2,422
会社員	1,511	846	665	61	604	531	2,115	1,377
経営者・役員	82	41	42	6	36	19	118	60
個人事業主	256	120	136	29	108	83	364	203
公務員（教職員含む）	119	58	61	6	55	8	174	66
専門職（個人事業主は除く）	61	19	43	6	37	20	98	39
農林漁業	20	12	8	1	7	6	27	18
派遣・契約社員	187	90	98	14	84	75	271	165
パート・アルバイト・フリーター	481	190	291	20	271	14	752	204
専業主婦／主夫	456	60	396	25	371	3	827	63
無職	699	146	552	44	508	5	1,207	151
学生	116	60	56	0	56	2	173	62
その他	36	13	23	3	20	2	56	15

【調査概要】 4. 対象者グループの定義補足

・**『3年以内借入経験者』**

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ（個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「商工ローンからの借入れ（事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

・**『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』**

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ（個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「商工ローンからの借入れ（事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在そのいずれかの借入残高が残っている方

・**『3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり』**

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ（個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「商工ローンからの借入れ（事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在「消費者金融からの借入れ」の借入残高が残っている方

・**『借入経験なし』**

過去、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ（個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「商工ローンからの借入れ（事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれについても利用経験がない方

【調査概要】 5. ウェイトバックについて① （サンプル毎ウェイトバック）

■ 「人口構成比準拠スクリーニング」において、地域・性・年代別のセルの人口構成比に対し下図のように過剰および欠損が生じたため、各サンプルにウエイトバック値を設定した。

■ 本調査においても下図のウェイトバック値を引き継ぎ集計を行っている。

■回収目標数

性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	合計
年齢	18～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	18～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	
北海道	145	142	191	175	185	171	141	143	196	191	205	218	2,103
東北	233	239	310	293	332	281	214	231	298	294	347	326	3,398
関東	202	201	265	234	239	227	179	181	246	225	243	250	2,692
一都三県	1,276	1,219	1,535	1,376	1,046	1,049	1,240	1,165	1,471	1,303	1,056	1,219	14,955
北陸・甲信	224	217	298	271	277	274	203	206	287	271	289	312	3,129
東海	474	455	587	524	458	469	437	421	557	510	476	535	5,903
近畿	636	570	764	696	602	652	641	584	794	735	656	784	8,114
中国	208	200	263	227	240	244	197	194	260	235	255	288	2,811
四国	93	96	131	115	130	129	88	95	131	123	141	153	1,425
九州	393	396	490	437	497	425	398	412	507	473	534	508	5,470
総計	3,884	3,735	4,834	4,348	4,006	3,921	3,738	3,632	4,747	4,360	4,202	4,593	50,000

■回収数

性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	合計
年齢	18～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	18～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	
北海道	148	148	195	175	188	173	141	145	202	195	206	218	2,134
東北	308	243	325	302	334	281	232	240	307	304	355	242	3,473
関東	209	203	265	237	245	227	179	187	247	225	243	214	2,681
一都三県	1,279	1,280	1,547	1,382	1,066	1,120	1,248	1,176	1,475	1,317	1,092	1,239	15,221
北陸・甲信	228	218	301	272	283	274	204	209	295	272	289	255	3,100
東海	478	455	599	528	468	472	440	431	557	512	479	535	5,954
近畿	636	576	765	701	606	652	641	597	796	744	663	784	8,161
中国	208	201	267	228	242	245	200	195	267	237	255	277	2,822
四国	93	96	133	117	130	130	88	96	132	125	142	130	1,412
九州	393	396	493	445	499	426	398	418	509	473	534	401	5,385
総計	3,980	3,816	4,890	4,387	4,061	4,000	3,771	3,694	4,787	4,404	4,258	4,295	50,343

■ウエイトバック値

性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
年齢	18～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	18～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才
北海道	0.9797	0.9595	0.9795	1.0000	0.9840	0.9884	1.0000	0.9862	0.9703	0.9795	0.9951	1.0000
東北	0.7565	0.9835	0.9538	0.9702	0.9940	1.0000	0.9224	0.9625	0.9707	0.9671	0.9775	1.3471
関東	0.9665	0.9901	1.0000	0.9873	0.9755	1.0000	1.0000	0.9679	0.9960	1.0000	1.0000	1.1682
一都三県	0.9977	0.9523	0.9922	0.9957	0.9812	0.9366	0.9936	0.9906	0.9973	0.9894	0.9670	0.9839
北陸・甲信	0.9825	0.9954	0.9900	0.9963	0.9788	1.0000	0.9951	0.9856	0.9729	0.9963	1.0000	1.2235
東海	0.9916	1.0000	0.9800	0.9924	0.9786	0.9936	0.9932	0.9768	1.0000	0.9961	0.9937	1.0000
近畿	1.0000	0.9896	0.9987	0.9929	0.9934	1.0000	1.0000	0.9782	0.9975	0.9879	0.9894	1.0000
中国	1.0000	0.9950	0.9850	0.9956	0.9917	0.9959	0.9850	0.9949	0.9738	0.9916	1.0000	1.0397
四国	1.0000	1.0000	0.9850	0.9829	1.0000	0.9923	1.0000	0.9896	0.9924	0.9840	0.9930	1.1769
九州	1.0000	1.0000	0.9939	0.9820	0.9960	0.9977	1.0000	0.9856	0.9961	1.0000	1.0000	1.2668

【調査概要】 5. ウェイトバックについて②（全体算出ウェイトバック）

- スクリーニング調査結果より、「3年以内借入経験者」が全体に占める割合は5.3%。この値が全体に占める「3年以内借入経験者」の比率と推計される。(表1)
- 今回の本調査の回収結果はそれぞれ1,654，2,387サンプルの回収となり、「3年以内借入経験者」が本調査回収サンプル総数の半数程度を占め、実際の構成よりも大きな比率を占めている。
- よって、セーフティネットの認知など、「3年以内借入経験者」と「3年以内借入経験者以外」を足した数値をみる際には、3年以内借入経験者の比率を市場構成比にあわせるための補正処理（ウェイトバック）を行っている。(表2)

【表1】
スクリーニング／本調査回収結果における、「3年以内借入経験者」の割合

スクリーニング調査回収結果（人口構成比準拠スクリーニングのみ）

	全体	3年以内借入経験者	3年以内借入経験者以外
サンプル数	50000	2648	47352
構成比	100	5.30	94.70

本調査回収結果（人口構成比準拠スクリーニングのみ）

	全体	3年以内借入経験者	3年以内借入経験者以外
サンプル数	4025	1654	2387
構成比	100	41.09	58.81

【表2】
ウェイトバック値の算出方法

	①	②	③	ウェイトバック値
	回収サンプル数	スクリーニング回収結果より母集団準拠した際の比率	回収サンプル数をスクリーニング回収結果比率にあわせる（①全体×2）	（③÷①）
全体	4839	1	4839	–
3年以内借入経験者	2452	0.053	256.3	0.1045
借入経験なし	2387	0.947	4582.7	1.9198

調査結果のまとめ

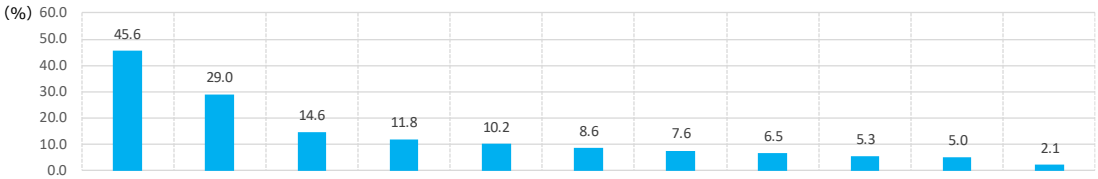
3年以内借入経験者の実態： 借入目的①
＜クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者＞

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者ベース

■ 3年以内借入経験者のうち、クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の利用目的の上位は、「生活費不足を補うため」45.6%、「クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため」29.0%、「欲しいものがあったが手元のお金が足りなかったため」14.6%となっている。

■ 年収別では【1～300万円以下】、職業別では【個人事業主】【派遣・契約社員】に「生活費不足を補うため」が多くなっている。



		回答者数	生活費（光熱水費を含む）不足を補うため	クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため	欲しいものがあったが手元のお金が足りなかったため	住宅ローンの支払い資金の不足を補うため	遊ぶためのお金（遊興費・レジャー費）が足りなかったため	医療費の支払いのため	他の貸金業者への返済資金の不足を補うため	ギャンブル等の元手が足りなかったため	冠婚葬祭費の支払いのため	学費の支払いのため	その他
全体		1395	45.6	29.0	14.6	11.8	10.2	8.6	7.6	6.5	5.3	5.0	2.1
年収別	0円	83	39.8	19.6	11.6	5.9	6.0	5.7	8.0	6.8	6.0	2.4	1.2
	1～300万円以下	479	55.9	32.4	13.6	9.1	7.8	9.7	6.4	5.6	4.3	4.3	2.5
	301～500万円以下	359	43.8	24.1	18.1	10.2	13.5	9.1	8.2	7.7	6.9	5.5	1.6
	501～1000万円以下	270	40.2	31.3	16.5	14.2	14.6	5.3	7.7	6.9	5.5	7.7	3.3
	1001万円以上	55	33.4	32.3	21.5	21.4	10.8	7.1	14.3	10.7	10.8	5.4	3.6
	不明	150	34.2	29.6	4.6	19.4	3.9	11.8	7.2	4.0	2.0	2.4	0.0
職業別	会社員	710	40.4	29.0	13.5	14.2	11.8	9.0	8.6	7.1	5.8	5.7	1.4
	経営者・役員	33	41.0	29.3	12.0	14.9	11.8	3.0	6.0	3.0	5.9	9.0	2.9
	個人事業主	95	55.6	33.0	10.4	9.3	8.3	6.2	9.3	4.2	6.2	5.2	3.1
	公務員（教職員含む）	50	41.4	29.2	25.5	11.7	15.8	13.8	13.7	7.9	5.9	3.9	0.0
	専門職	16	43.6	25.5	12.4	12.6	6.3	12.5	0.0	12.3	6.4	12.6	0.0
	農林漁業	11	32.5	26.3	17.2	0.0	26.3	8.2	6.7	0.0	0.0	0.0	8.8
	派遣・契約社員	72	71.4	31.5	12.3	4.1	6.9	2.7	1.4	6.9	1.4	2.8	4.0
	パート・アルバイト・フリーター	159	54.1	30.6	11.7	11.3	5.6	8.8	7.4	1.2	6.2	4.8	2.5
	専業主婦／主夫	54	50.1	26.1	20.1	7.4	11.0	9.2	5.5	10.9	3.7	3.7	1.8
	無職	133	53.9	24.4	18.8	3.7	10.4	8.2	5.2	8.9	3.0	1.4	3.7
	学生	52	16.8	29.6	20.6	20.5	1.9	10.6	7.7	7.2	5.8	7.7	1.9
	その他	11	63.1	28.1	28.2	8.8	0.0	18.7	0.0	9.4	9.4	0.0	9.3

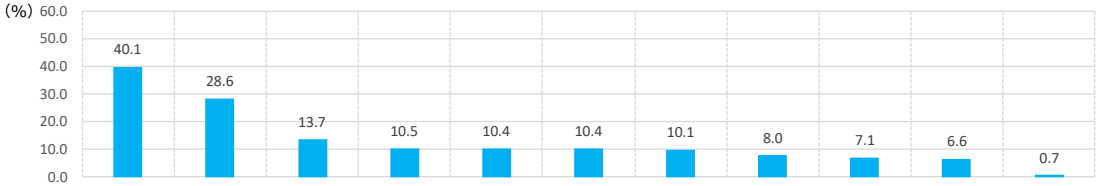
全体との差
- ■ +10pt以上高い
- ■ +5p以上高い
- ■ −10pt以上低い
- ■ −5p以上低い
- ■ サンプル30未満

3年以内借入経験者の実態： 借入目的②
＜消費者金融利用者＞

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者ベース

- 3年以内借入経験者のうち、消費者金融利用者の利用目的の上位は、「生活費不足を補うため」40.1%、「クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため」28.6%、「住宅ローンの支払い資金の不足を補うため」13.7%となっている。
- 職業別では【派遣・契約社員】【無職】に「生活費不足を補うため」が多くなっている。



		回答者数	生活費（光熱水費を含む）不足を補うため	クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため	住宅ローンの支払い資金の不足を補うため	欲しいものがあったが手元のお金が足りなかったため	遊ぶためのお金（遊興費・レジャー費）が足りなかったため	ギャンブル等の元手が足りなかったため	他の貸金業者への返済資金の不足を補うため	医療費の支払いのため	学費の支払いのため	冠婚葬祭費の支払いのため	その他
全体		796	40.1	28.6	13.7	10.5	10.4	10.4	10.1	8.0	7.1	6.6	0.7
年収別	0円	53	36.8	17.0	13.1	7.5	3.7	8.9	7.4	1.9	5.6	7.0	0.0
	1～300万円以下	212	48.2	24.4	14.9	10.2	11.2	10.2	10.1	9.6	6.6	6.4	0.5
	301～500万円以下	203	41.8	27.3	10.2	14.4	13.2	13.7	11.2	9.6	5.7	7.2	0.5
	501～1000万円以下	160	38.8	32.6	13.0	11.8	15.5	14.8	10.5	8.7	8.7	6.6	1.2
	1001万円以上	39	32.1	29.9	27.4	15.0	5.0	7.5	12.6	10.0	17.6	9.8	5.1
	不明	129	29.3	37.0	14.0	3.0	3.0	1.5	8.4	3.7	5.4	5.0	0.0
職業別	会社員	477	36.3	30.4	15.3	10.5	11.6	10.8	10.5	7.9	6.8	7.0	0.2
	経営者・役員	18	42.6	42.0	16.2	0.0	5.4	0.0	21.8	16.3	10.9	4.2	5.5
	個人事業主	45	50.0	21.8	10.6	4.4	6.7	11.1	8.9	6.6	2.2	4.4	2.2
	公務員（教職員含む）	31	38.6	29.0	16.1	19.4	19.5	16.1	22.7	9.6	13.0	6.5	3.2
	専門職	8	25.4	25.4	11.8	25.1	12.6	37.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	6	30.4	27.5	12.0	0.0	15.6	0.0	0.0	14.6	0.0	0.0	0.0
	派遣・契約社員	36	67.3	15.8	0.0	2.7	5.5	5.5	5.3	5.5	5.5	2.6	2.7
	パート・アルバイト・フリーター	75	49.8	31.7	11.9	10.4	7.9	7.8	9.2	6.5	7.9	7.9	0.0
	専業主婦／主夫	20	39.9	20.0	10.1	10.1	15.1	24.9	10.1	10.1	10.1	20.0	0.0
	無職	39	62.6	17.1	7.7	15.1	10.2	7.7	7.5	12.8	2.6	5.1	2.6
	学生	38	7.9	31.7	20.6	15.9	0.0	7.3	5.3	2.6	15.9	4.7	0.0
	その他	4	74.8	25.2	0.0	25.2	25.2	0.0	0.0	25.2	0.0	0.0	0.0

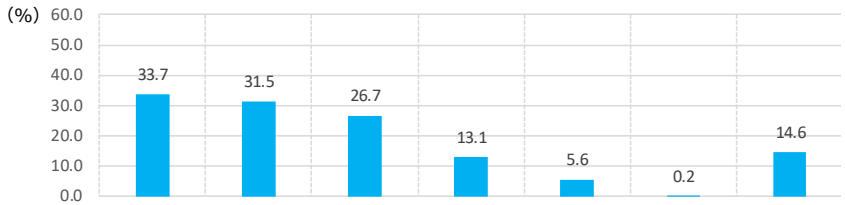
全体との差
- ＋10pt以上高い
- ＋5p以上高い
- －10pt以上低い
- －5p以上低い
- サンプル30未満

3年以内借入経験者の実態： 契約手段①
＜クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者＞

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者ベース

- 3年以内借入経験者のうち、クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の契約手段の上位は、「自動契約受付機・ATM」33.7%、「インターネット（アプリを除く）」31.5%、「スマートフォンのアプリ」26.7%となっている。
- 年収別では【1001万円以上】に「自動契約受付機・ATM」が多くなっている。



		回答者数	自動契約受付機・ATM	インターネット（アプリを除く）	スマートフォンのアプリ	対面	郵送	その他	わからない
全体		1395	33.7	31.5	26.7	13.1	5.6	0.2	14.6
年収別	0円	83	15.5	16.7	13.1	11.2	1.2	0.0	43.5
	1～300万円以下	479	35.6	36.1	23.9	10.3	7.4	0.2	13.1
	301～500万円以下	359	32.1	32.8	31.8	12.0	4.9	0.3	12.4
	501～1000万円以下	270	40.4	33.9	28.5	13.1	5.8	0.4	9.5
	1001万円以上	55	44.9	37.7	34.1	19.6	7.2	0.0	10.3
	不明	150	25.0	15.5	25.3	23.0	2.6	0.0	19.6
職業別	会社員	710	35.2	31.5	31.7	14.8	4.6	0.1	12.0
	経営者・役員	33	23.7	26.7	35.8	23.1	9.1	0.0	11.2
	個人事業主	95	36.1	36.2	27.8	13.2	3.1	0.0	10.5
	公務員（教職員含む）	50	33.2	33.5	31.5	5.9	13.6	2.0	9.9
	専門職	16	24.9	37.6	0.0	18.4	6.4	0.0	25.4
	農林漁業	11	15.7	25.9	23.7	26.0	0.0	0.0	8.7
	派遣・契約社員	72	37.0	26.1	17.9	2.7	6.9	0.0	27.4
	パート・アルバイト・フリーター	159	32.7	29.8	21.8	9.3	6.9	0.0	16.9
	専業主婦／主夫	54	35.5	24.3	20.3	16.5	5.5	0.0	23.8
	無職	133	28.7	34.1	14.9	8.9	6.9	0.7	18.4
	学生	52	29.8	30.6	22.9	18.7	3.8	0.0	18.7
	その他	11	37.4	65.0	9.4	9.4	9.4	0.0	16.3

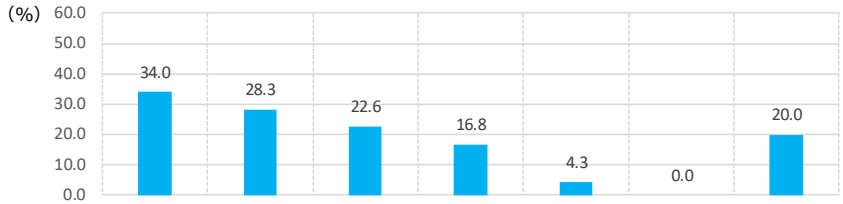
全体との差
- ■ +10pt以上高い　■ +5p以上高い
- ■ −10pt以上低い　■ −5p以上低い
- ■ サンプル30未満

3年以内借入経験者の実態： 契約手段②
＜消費者金融利用者＞

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者ベース

- 3年以内借入経験者のうち、消費者金融利用者の契約手段の上位は、「スマートフォンのアプリ」34.0%、「自動契約受付機・ATM」28.3%、「インターネット（アプリを除く）」22.6%となっている。
- 年収別では【501～1000万円以下】に「自動契約受付機・ATM」が、【1001万円以上】に「インターネット（アプリを除く）」が多くなっている。



		回答者数	スマートフォンのアプリ	自動契約受付機・ATM	インターネット（アプリを除く）	対面	郵送	その他	わからない
全体		796	34.0	28.3	22.6	16.8	4.3	0.0	20.0
年収別	0円	53	8.9	9.3	12.7	15.7	0.0	0.0	57.1
	1～300万円以下	212	35.6	27.4	27.8	14.6	4.6	0.0	17.7
	301～500万円以下	203	34.4	34.4	22.6	13.1	5.3	0.0	20.3
	501～1000万円以下	160	40.2	39.8	21.7	19.9	4.4	0.0	9.9
	1001万円以上	39	35.1	17.4	37.3	19.9	10.0	0.0	17.4
	不明	129	33.1	17.0	14.7	21.8	2.3	0.0	21.3
職業別	会社員	477	36.4	32.0	22.5	18.4	4.8	0.0	16.9
	経営者・役員	18	43.4	21.2	37.8	20.3	0.0	0.0	9.4
	個人事業主	45	22.0	25.9	11.1	23.7	2.2	0.0	26.3
	公務員（教職員含む）	31	48.2	29.1	35.5	16.2	9.7	0.0	9.7
	専門職	8	25.2	37.6	0.0	11.8	0.0	0.0	38.1
	農林漁業	6	26.6	15.6	12.0	30.4	0.0	0.0	15.5
	派遣・契約社員	36	23.9	27.2	27.3	0.0	0.0	0.0	27.1
	パート・アルバイト・フリーター	75	30.1	13.1	26.5	14.4	6.4	0.0	25.1
	専業主婦／主夫	20	25.1	30.1	20.1	15.0	5.0	0.0	29.8
	無職	39	25.4	26.7	17.7	17.7	5.1	0.0	32.9
	学生	38	39.2	20.5	19.7	8.0	0.0	0.0	20.5
	その他	4	0.0	25.2	25.2	0.0	0.0	0.0	74.8

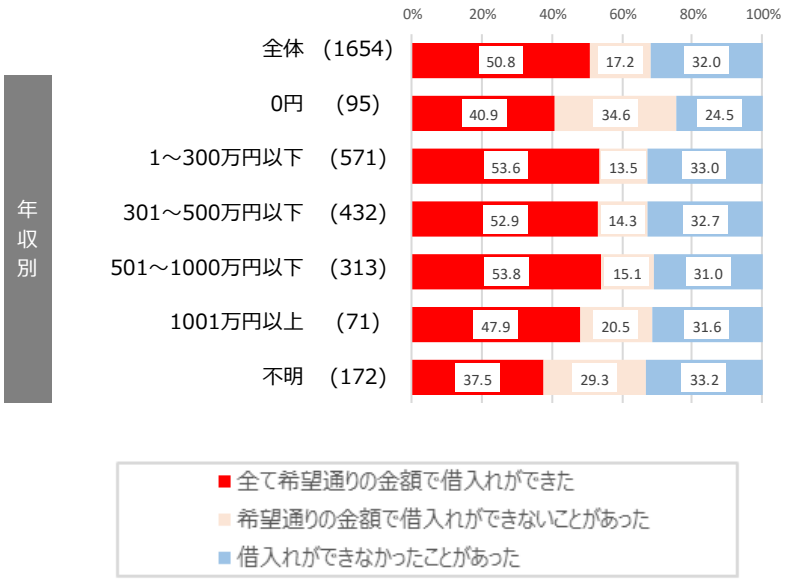
全体との差
- ■ +10pt以上高い
- ■ +5p以上高い
- ■ −10pt以上低い
- ■ −5p以上低い
- ■ サンプル30未満

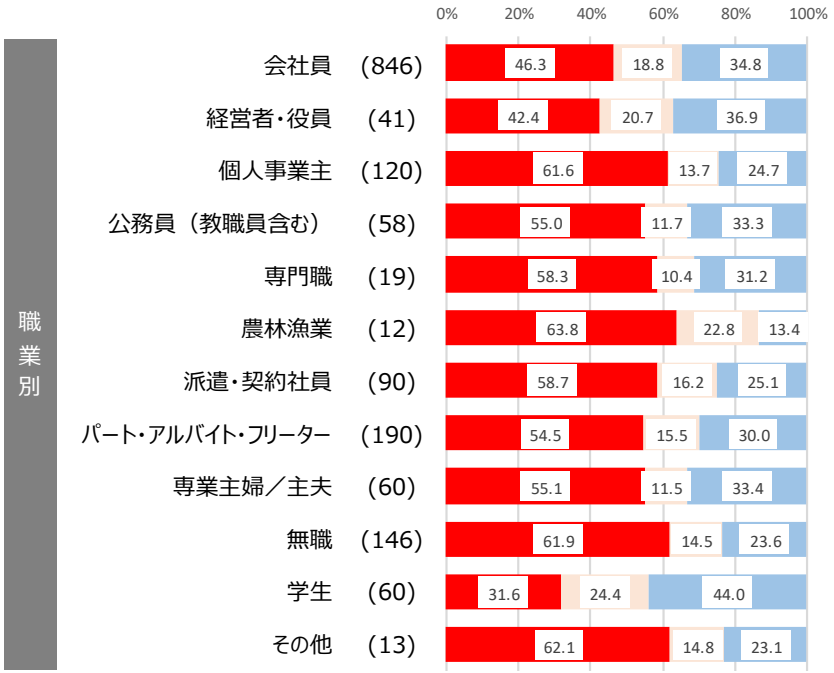
3年以内借入経験者の実態：希望通りの借り入れ有無①
＜年収別/職業別＞

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者ベース

- 3年以内借入経験者のうち、「借入れができなかったことがあった」人が32.0%、借入れができなかったことはないが「希望通りの金額で借入れができないことがあった」人が17.2%、「全て希望通りの金額で借入れができた」人は50.8%となっている。
- 年収別では【0円】に「希望通りの金額で借入れができないことがあった」人が多くなっている。
- 職業別では【学生】【経営者・役員】【会社員】に「借入れができなかったことがあった」がやや多くなっている。



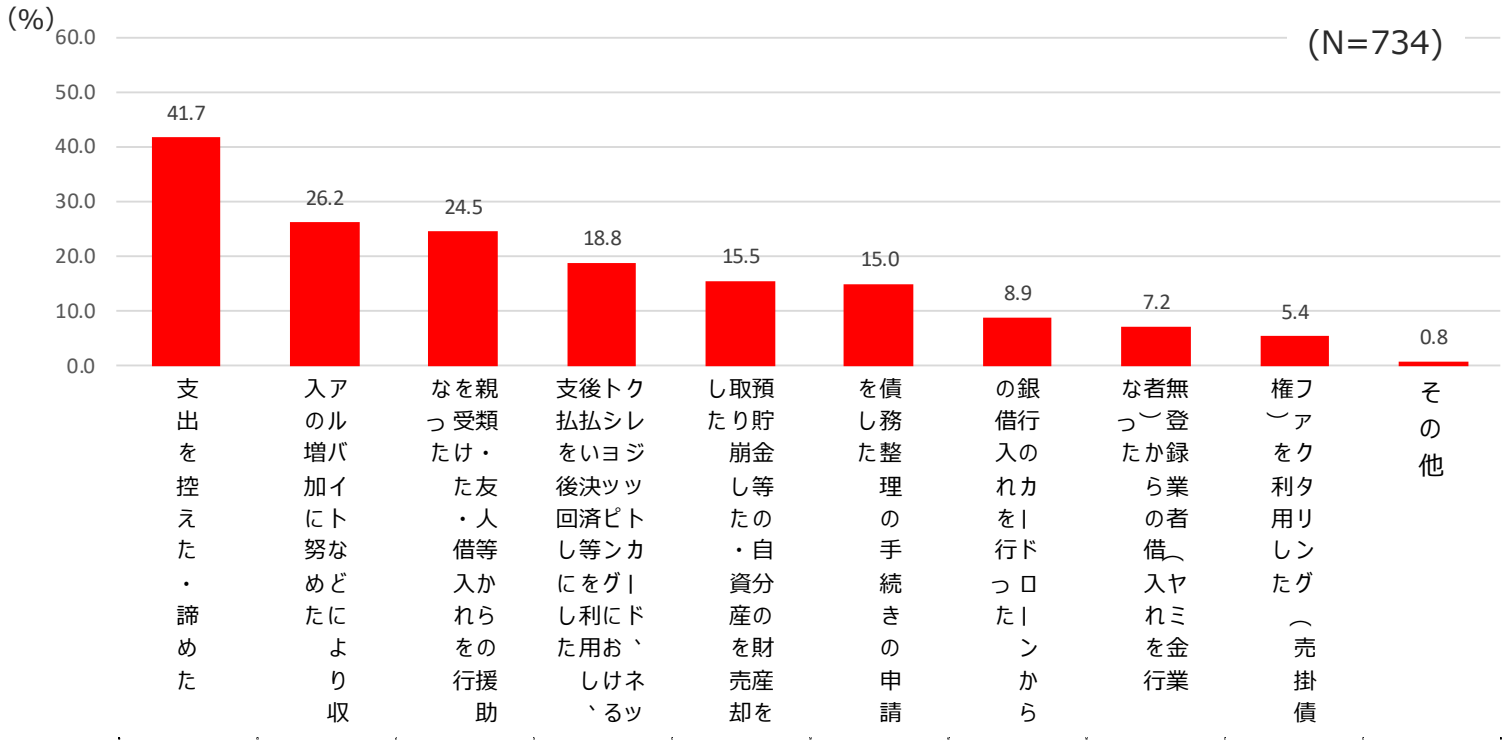


3年以内借入経験者の実態：希望通りの借り入れ有無②
＜希望通りの借り入れができなかったときの対応＞

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者ベース

■ 3年以内借入経験者の、希望通りの借り入れができなかったときの対応の上位は、「支出を控えた・諦めた」41.7%、「アルバイトなどにより収入の増加に努めた」26.2%、「親類・友人等からの援助を受けた・借入れを行なった」24.5%となっている。



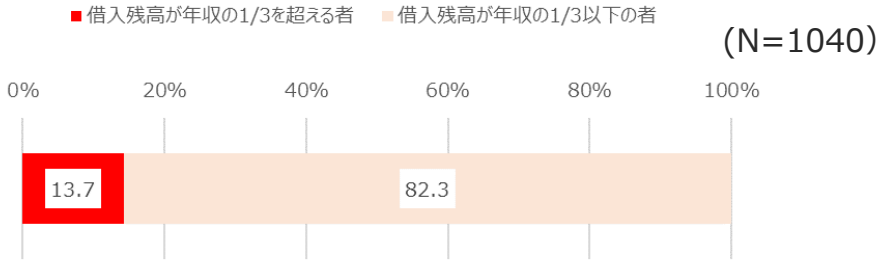
借入残高が年収の1/3を超える者の割合：現在の借入残高

サンプル毎ウェイトバック

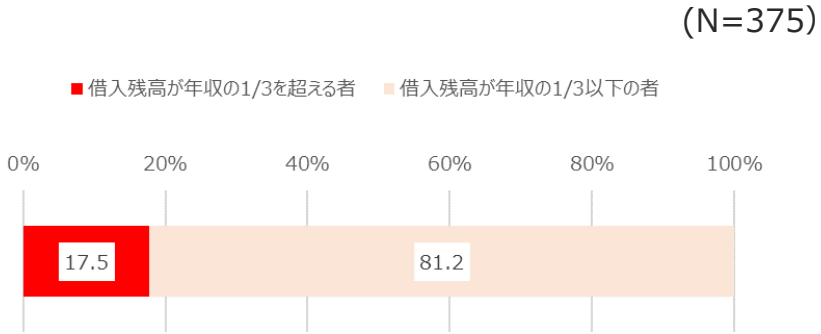
３年以内借入経験者現在残高ありベース

- 3年以内借入経験者で現在借入残高がある者のうち、借入残高が収入の1/3を超える者の割合は13.7%となっている。
- 3年以内借入経験者で現在借入残高がある者のうち、借入残高が年収の1/3を超える者の割合を年収別で見ると、年収が300万円以下に集中している。
- 職業別に見ると、『無職』『専業主婦・主夫』『契約社員・派遣社員』『パート・アルバイト・フリーター』で割合が高くなっている。（回答者30人以上）
- 消費者金融利用者のうち借入残高が年収の1/3を超える者の割合は17.5%となっている。

借入残高が年収の1/3を超える者の割合
（ベース：3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり）



借入残高が年収の1/3を超える者の割合
（ベース：3年以内借入経験者かつ現在消費者金融に借入残高あり）



		回答者	年収が1/3を超える者（%）
	全体	1,040	13.7
年収別	0円	29	100.0
	1～300万円以下	436	17.8
	301～500万円以下	312	5.4
	501～1000万円以下	224	7.9
	1001万円以上	39	2.5
職業別	会社員	514	9.2
	経営者・役員	26	11.6
	個人事業主	82	8.7
	公務員（教職員含む）	34	11.7
	専門職	11	9.2
	農林漁業	4	24.9
	派遣・契約社員	66	20.6
	パート・アルバイト・フリーター	135	19.7
	専業主婦／主夫	40	22.2
	無職	94	25.0
	学生	23	21.0
	その他	13	15.6

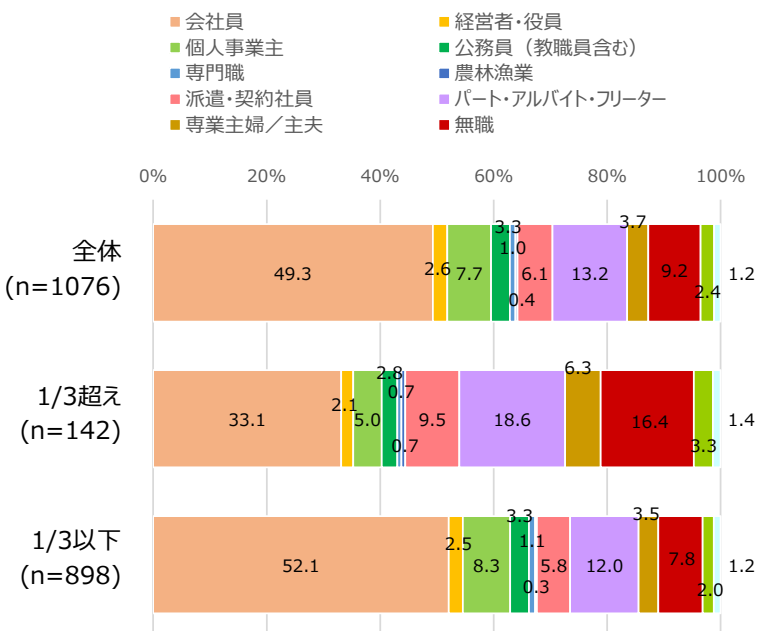
借入残高が年収の1/3を超える者の割合：属性の特徴

サンプル毎ウェイトバック

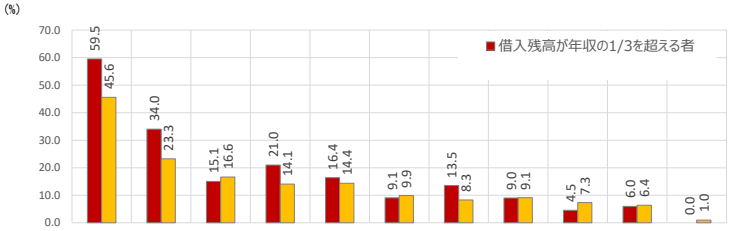
３年以内借入経験者現在残高ありベース

- 借入残高が年収の1/3を超える者（3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり）の職業構成については「会社員」が33.1%で最も高い。
- 借入残高が年収の1/3を超える者（3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり）の消費者金融借入目的は、「生活費不足の補填」の割合が、最も高くなっている。

借入残高が年収の1/3を超える者の職業（ベース：3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり）



借入残高が年収の1/3を超える者の消費者金融借入目的（ベース：消費者金融から3年以内借入ありかつ現在借入残高あり



		生活費（光熱水費を含む）不足を補うため	クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため	遊ぶためのお金（遊興費・レジャー費）が足りなかったため	ギャンブル等の元手が足りなかったため	欲しいものがあったが手元のお金が足りなかったため	住宅ローンの支払い資金の不足を補うため	他の貸金業者への返済資金の不足を補うため	医療費の支払いのため	学費の支払いのため	冠婚葬祭費の支払いのため	その他
3年以内借入経験者	375	48.0	25.1	16.3	15.3	14.7	9.8	9.2	9.1	6.8	6.3	0.8
うち借入残高が年収の1/3を超える者	66	59.5	34.0	15.1	21.0	16.4	9.1	13.5	9.0	4.5	6.0	0.0
うち借入残高が年収の1/3以下の者	309	45.6	23.3	16.6	14.1	14.4	9.9	8.3	9.1	7.3	6.4	1.0

セーフティネットの認知

全体算出
ウェイトバック

サンプル毎
ウェイトバック

- 「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」の認知計は全体（ウェイトバック後）で22.5%となっている。
- 【3年以内借入経験者】の詳細認知は、「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」が24.5%で最も高くなっている。
- 【現在の借入残高が年収の1/3を超える】人の認知では「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が57.1%で最も高くなっている。

セーフティネット　認知/詳細認知状況

				財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口		法テラス）、国民生活センターの相談窓口		弁護士会、司法書士会の相談窓口		生活協同組合や労働金庫・信用組合で行っている貸付制度		各都道府県の社会福祉協議会が行なう生活福祉資金貸付制度		日本貸金業協会・全国銀行協会による貸付自粛制度	
				認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知
全体			4025	22.5	3.4	42.0	5.6	39.9	5.2	20.9	3.2	19.3	3.6	14.7	2.5
３年以内借入経験者			1654	55.8	24.5	65.8	24.3	62.8	22.5	50.7	18.0	50.9	18.7	49.2	19.2
	現在の借入残高	年収の1/3を超える	142	40.0	11.1	56.2	17.1	57.1	13.9	35.8	8.4	40.7	11.1	35.8	9.0
		年収の1/3以下	898	50.9	18.6	64.3	20.2	60.1	19.0	45.0	14.1	45.9	14.5	43.6	13.6
		借入残高不明	501	72.5	41.4	73.7	35.1	71.0	32.9	67.6	29.1	66.5	30.3	66.9	34.0
		借入残高なし	113	39.9	13.7	55.5	18.1	55.6	15.5	40.0	12.0	34.6	9.4	32.1	11.1
３年以内借入経験者以外			2371	20.7	2.3	40.8	4.6	38.7	4.3	19.3	2.4	17.6	2.8	12.8	1.6
	過去の経験	３年以前に経験あり	215	33.2	4.6	60.2	13.2	58.9	11.0	33.2	6.0	34.1	6.4	24.1	5.1
		過去に経験なし	2156	19.5	2.0	38.8	3.7	36.7	3.6	17.9	2.1	16.0	2.4	11.7	1.3

※全体は３年以内借入経験者の比率（5.3%）を加味したウェイトバック集計
※「認知計」＝「詳細な内容まで知っていた」＋「聞いたことはあるが詳細な内容までは知らなかった」
※ピンク枠は各層で、「認知計」「詳細認知」が最も高い機関・相談窓口

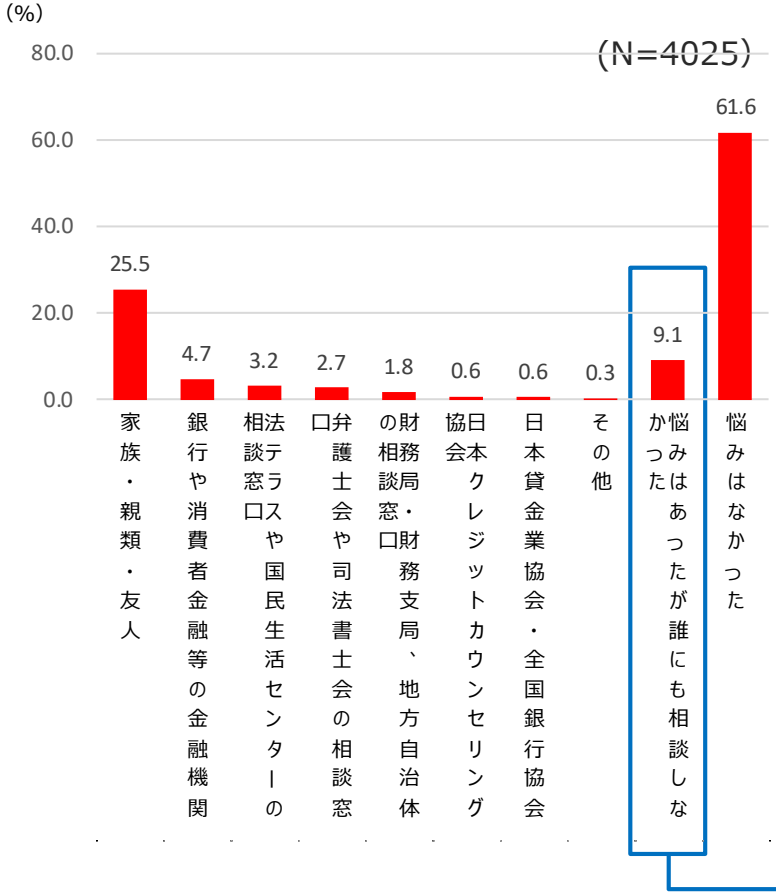
家計や借入の悩みの相談状況

全体算出
ウェイトバック

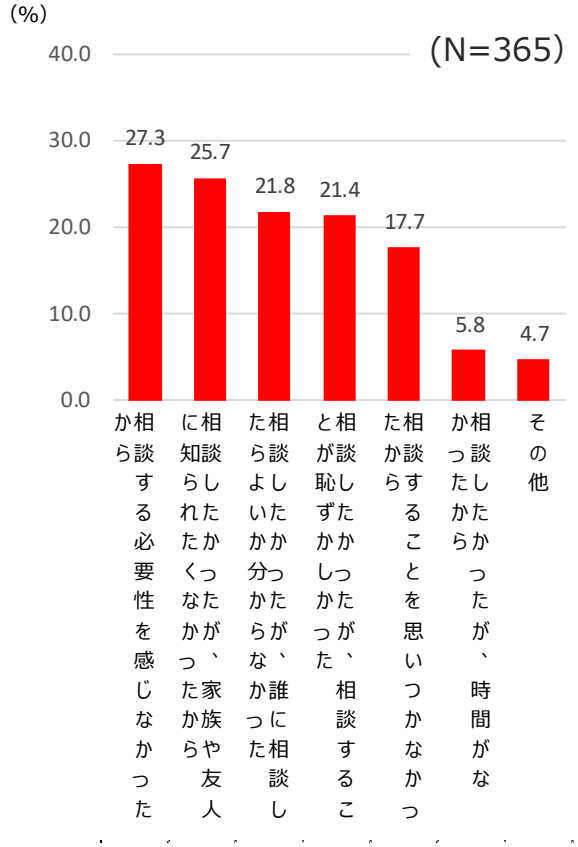
サンプル毎
ウェイトバック

- 家計や借入の悩みの相談先は、「家族・親類・友人」が最も多く、全体(ウェイトバック後）で25.5%となっている。
- 「悩みはあったが誰にも相談しなかった」人は、全体(ウェイトバック後）で9.1%で、その理由としては「相談する必要性を感じなかったから」が27.3%で最も多く、次いで「相談したかったが、家族や友人に知られたくなかったから」25.7%となっている。

家計や借入れの悩みの相談先



誰にも相談しなかった理由



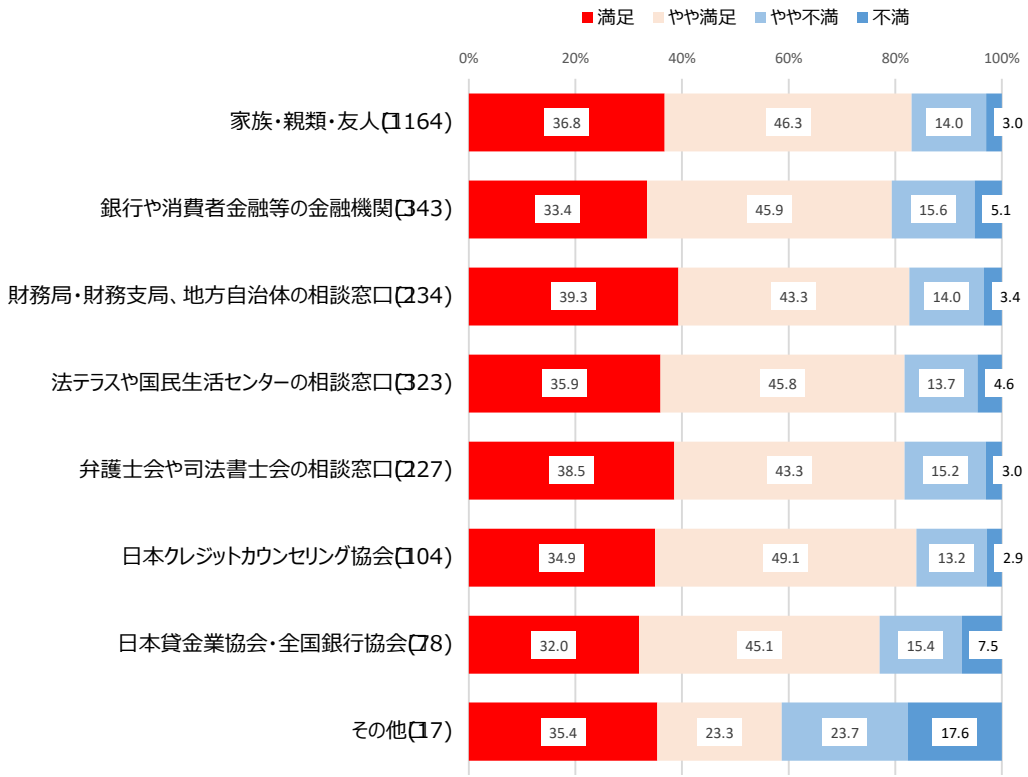
家計や借入れの悩み相談先満足度

全体算出
ウェイトバック

サンプル毎
ウェイトバック

■ 家計や借入れの悩みの相談先の満足度は、満足度計（満足+やや満足）がおおむね８割前後となっている。

家計や借入れの悩みの相談先の満足度



満足計	不満計
83.1	16.9
79.3	20.7
82.6	17.4
81.8	18.2
81.8	18.2
84.0	16.0
77.0	23.0
58.7	41.3

無登録業者（ヤミ金融）利用状況のまとめ

SNS 等を利用した個人間融資、
クレジットカードのショッピング枠の現金化、
後払い（ツケ払い）現金化、
ファクタリング（給料債権）、
ファクタリング（売掛債権）を除く。

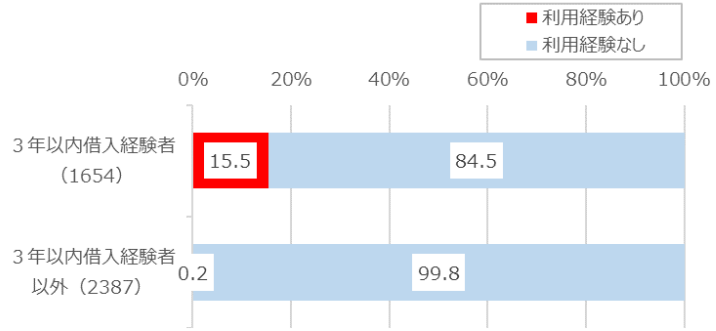
無登録業者（ヤミ金融）の利用経験

サンプル毎ウェイトバック

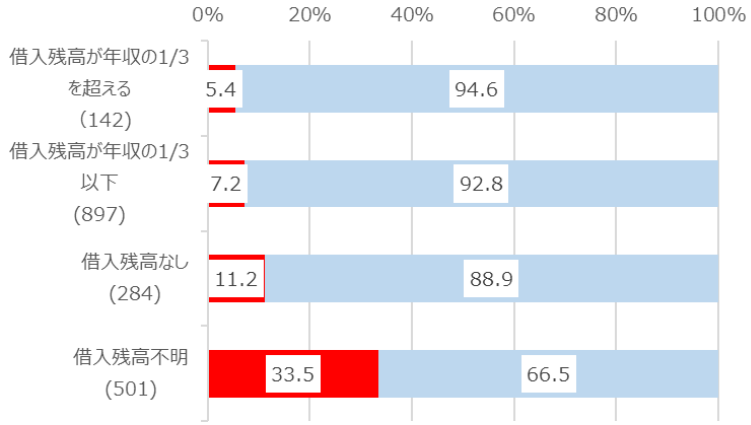
３年以内借入経験者ベース

■ 無登録業者（ヤミ金融）の利用経験は、【３年以内借入経験者】で15.5%、【３年以内借入経験者以外】では0.2%となっている。
※利用経験の範囲は３年以前も含んでいる。

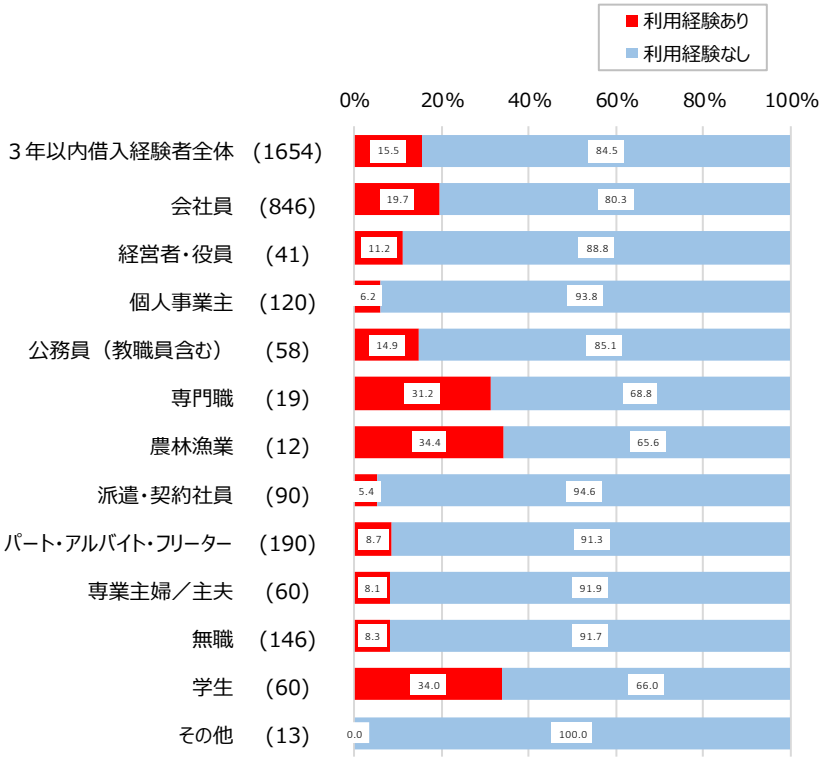
無登録業者（ヤミ金融）の利用経験



無登録業者（ヤミ金融）の利用経験　（借入残高別）



無登録業者（ヤミ金融）の利用経験　（職業別）



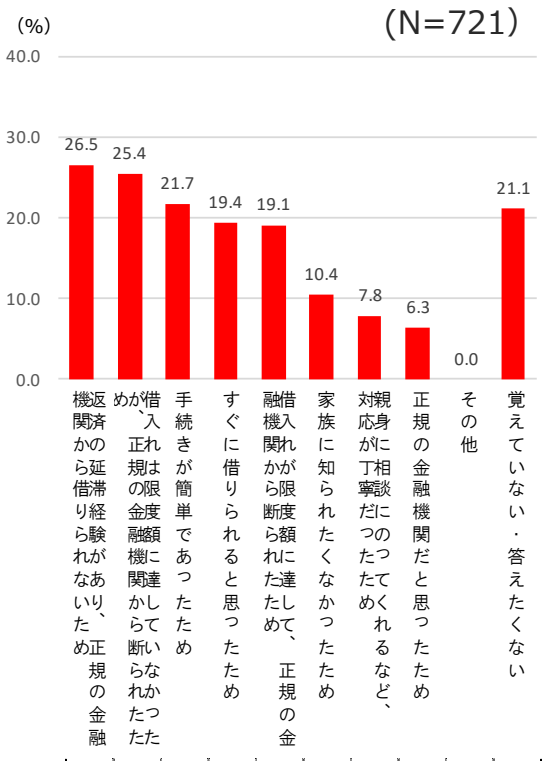
無登録業者（ヤミ金融）の利用理由等

サンプル毎ウェイトバック

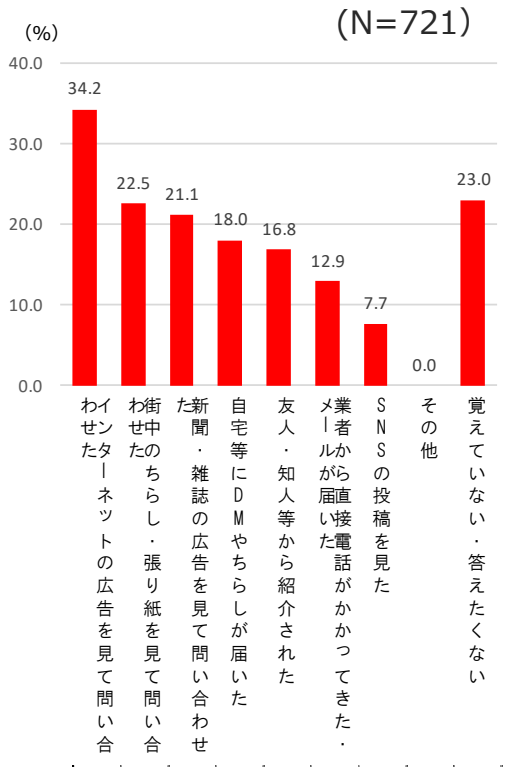
無登録業者借入経験者ベース

- 無登録業者（ヤミ金融）利用経験者の利用理由は、「返済の延滞経験があり、正規の金融機関から借りられないため」26.5%で最も多くなっている。
- 無登録業者（ヤミ金融）との接触のきっかけは、「インターネットの広告を見て問い合わせた」が34.2%で最も多くなっている。
- 無登録業者（ヤミ金融）を利用した感想は、「生活（事業）はあまり変わらなかった」が21.5%で最も多くなっている。

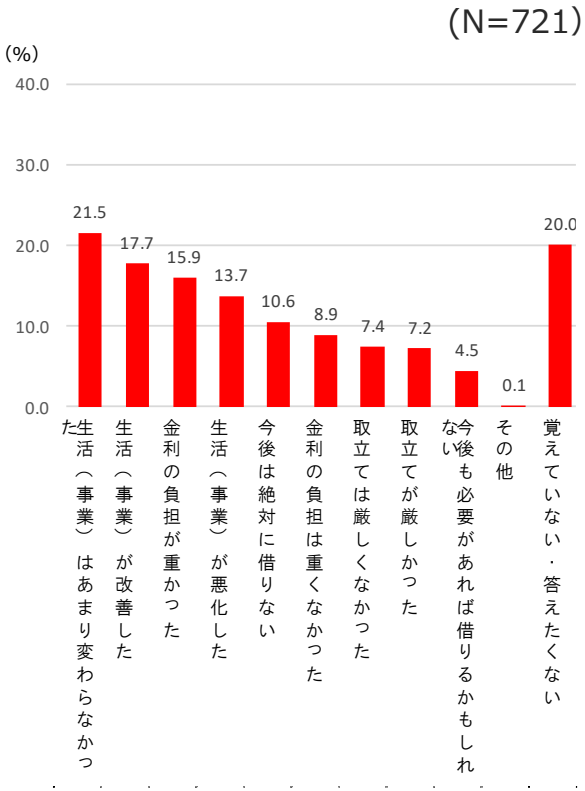
無登録業者（ヤミ金融）の利用理由



無登録業者（ヤミ金融）の接触契機



無登録業者（ヤミ金融）からの借り入れの感想

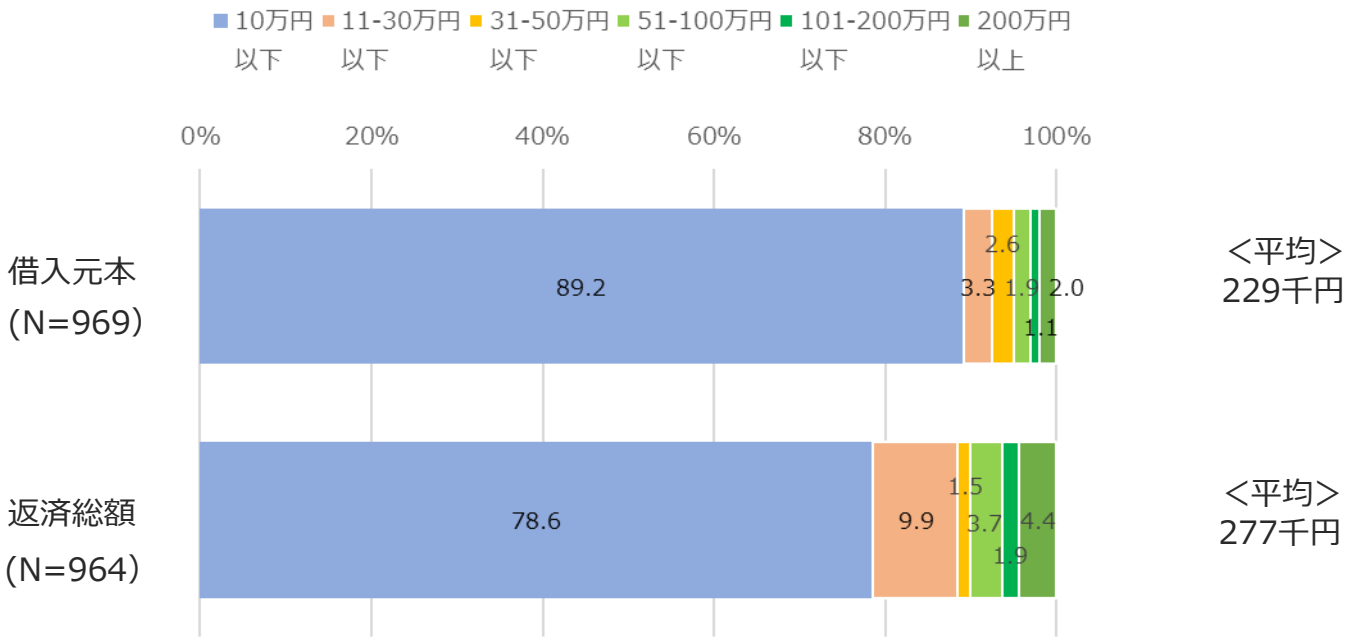


無登録業者（ヤミ金融）の利用理由等

無登録業者
借入者
ベース

- 無登録業者（ヤミ金融）利用経験者の借入元本は、「10万円以下」が89.2%となっている。
- 無登録業者（ヤミ金融）利用経験者の返済総額は、「10万円以下」が78.6%となっている。

無登録業者（ヤミ金融）からの借入時の借入元本および返済総額（元本+利息）



※本項目はサンプル毎ウェイトバックは適用していない。

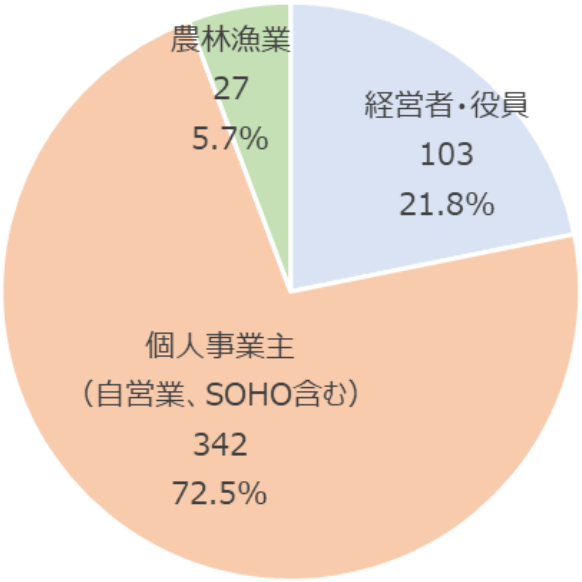
事業主向け調査のまとめ

事業主　サンプル構成

追加有職者スクリーニングによるサンプルを含む

■ 事業主サンプル構成（N=472）は「個人事業主（自営業、SOHO含む）」72.5%、「経営者・役員」21.8%、「農林漁業」5.7%となっている。

事業主サンプル（N=472）の構成

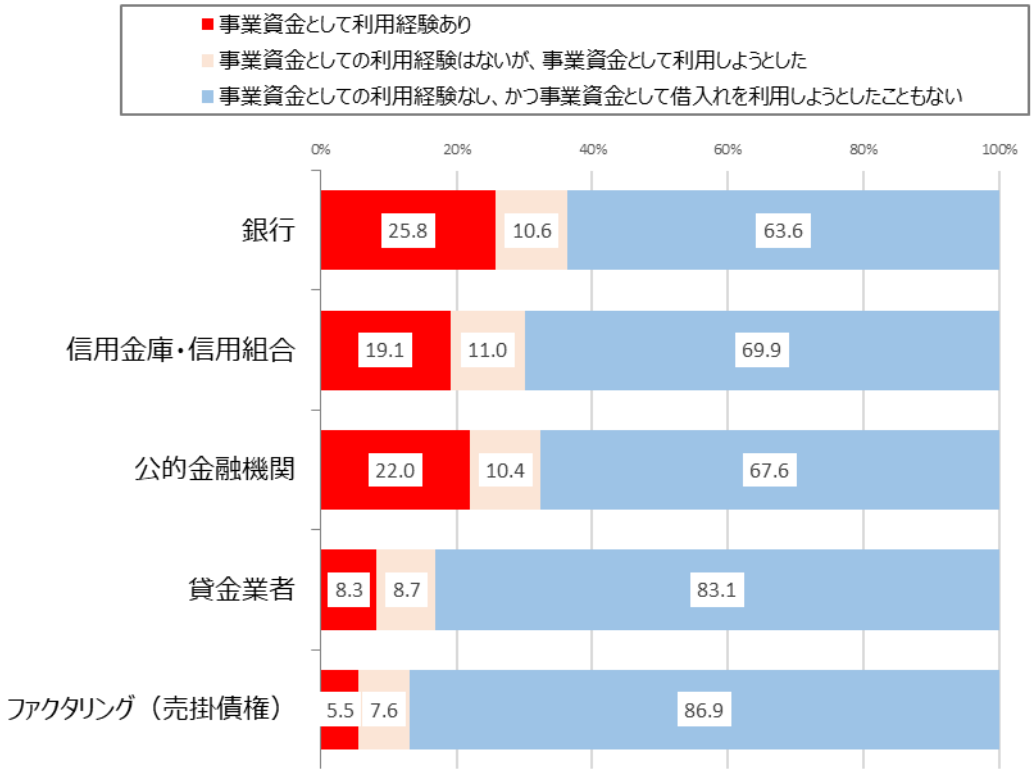


事業資金としての金融機関等利用状況

追加有職者スクリーニングによるサンプルを含む

- 事業主の、事業資金として利用経験は、「銀行」が最も多く25.8%となっている。
- 「貸金業者」を事業資金として利用経験のある事業主は8.3%となっている。

事業資金としての金融機関等の利用状況



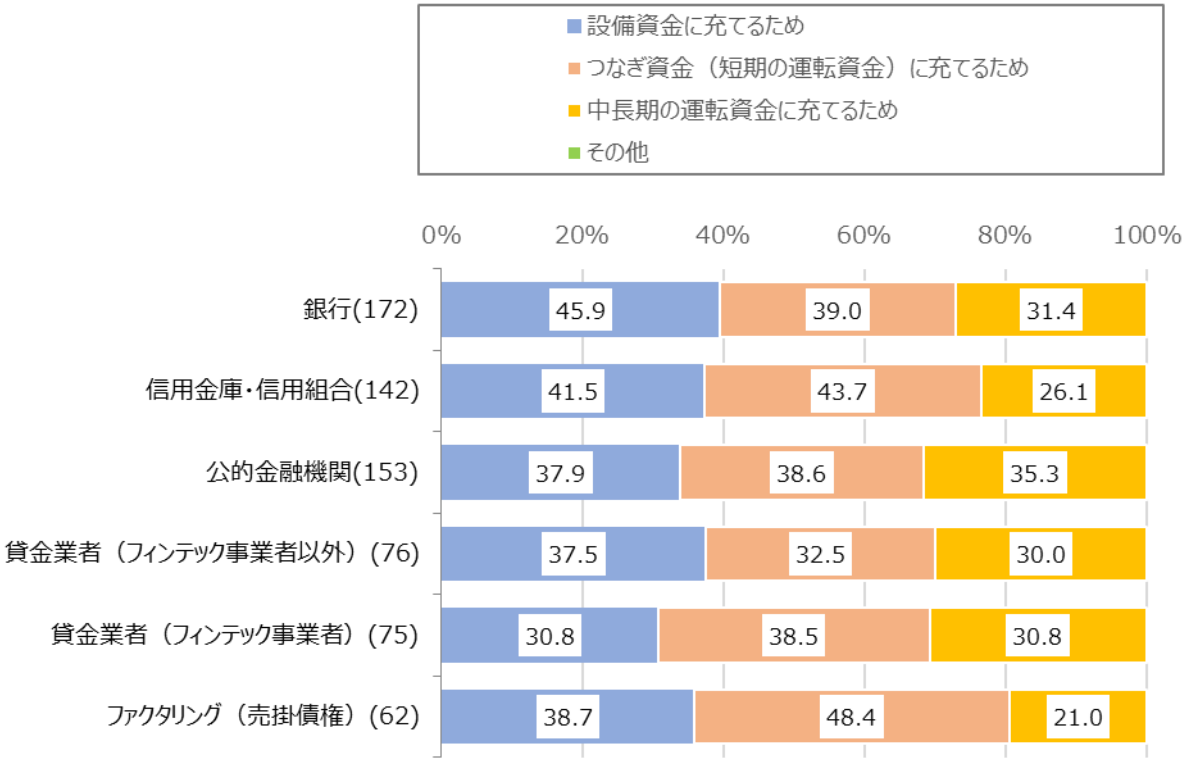
（N=472）

事業資金としての金融機関等利用目的

追加有職者スクリーニングによるサンプルを含む

- どの事業者も「設備資金」「つなぎ資金」「中長期の運転資金」どれかに大きく偏ることなく利用されている。
- 貸金業者の事業資金の利用目的は「フィンテック事業者」と「フィンテック事業者以外」でやや異なっており、「フィンテック事業者」は「つなぎ資金（短期の運転資金）に充てるため」が最も多いが、「フィンテック事業者以外」は「設備資金に充てるため」が最も多くなっている。

事業資金としての金融機関等利用目的

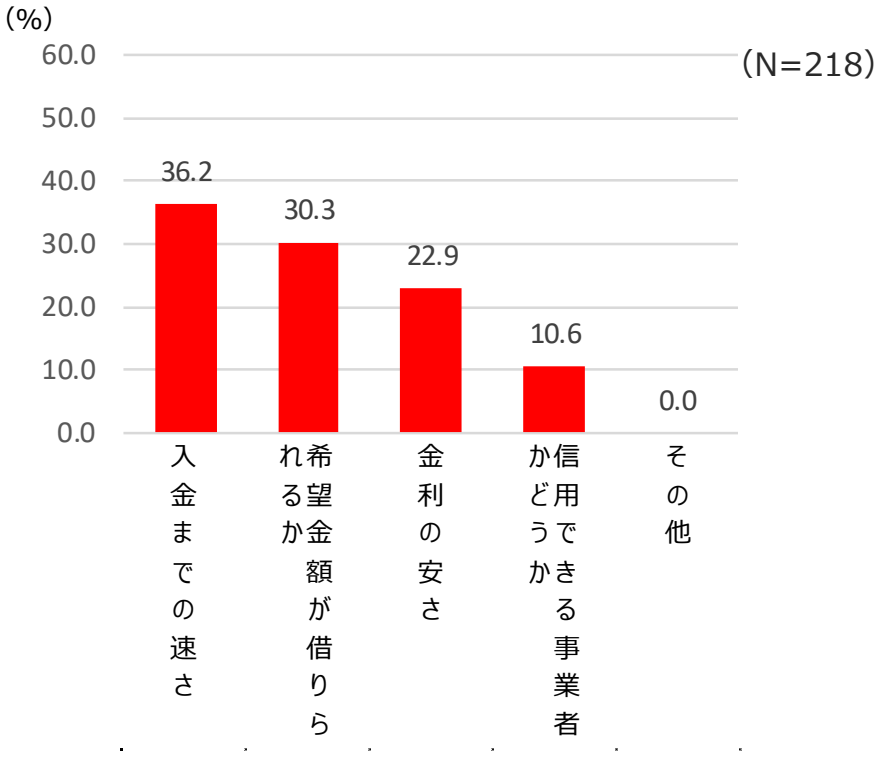


事業資金借入検討時の優先事項

追加有職者スクリーニングによるサンプルを含む

■ 事業資金として金融機関等を利用したことのある事業主の事業資金借入検討時の優先事項は、「入金までの速さ」が最も高く36.2%となっている。

事業資金借入検討時の優先事項
（事業資金として金融機関等を利用したことのある事業主を対象）



キャッシュレス決済のための貸金利用状況まとめ

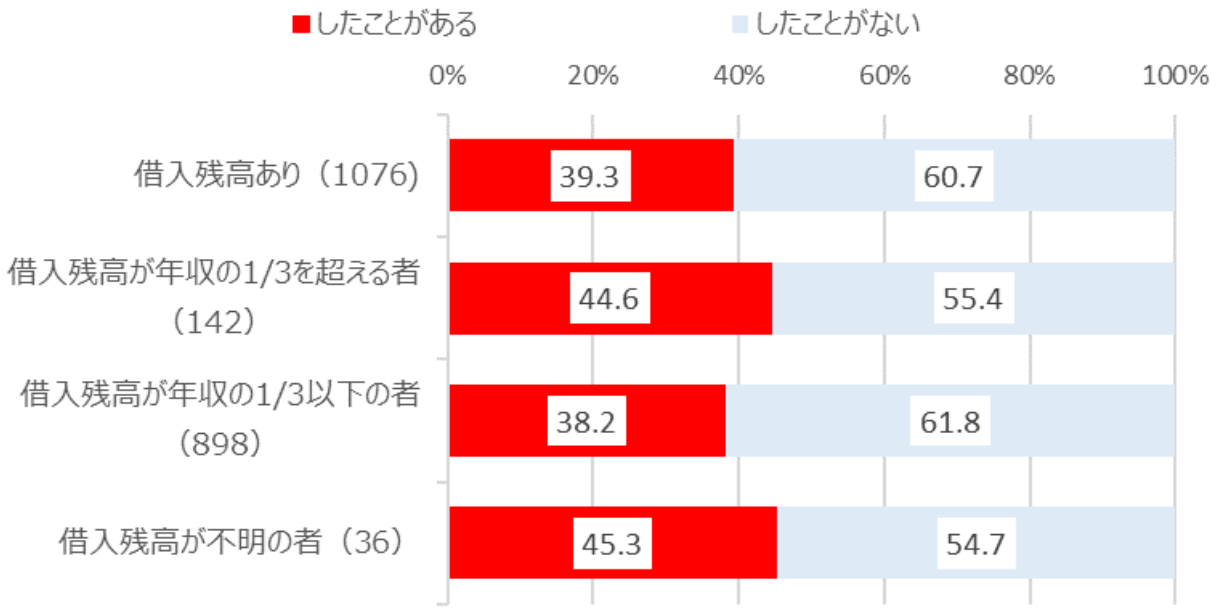
キャッシュレス決済のための借入サービス利用状況

サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者現在残高ありベース

- 最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために、借入れ・資金調達等のサービスを利用したことがあるの人は、『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』の人のうち39.3%となっている。
- さらに借入残高が年収の1/3を超える者の中では、44.6%となっている。

最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用したことの有無



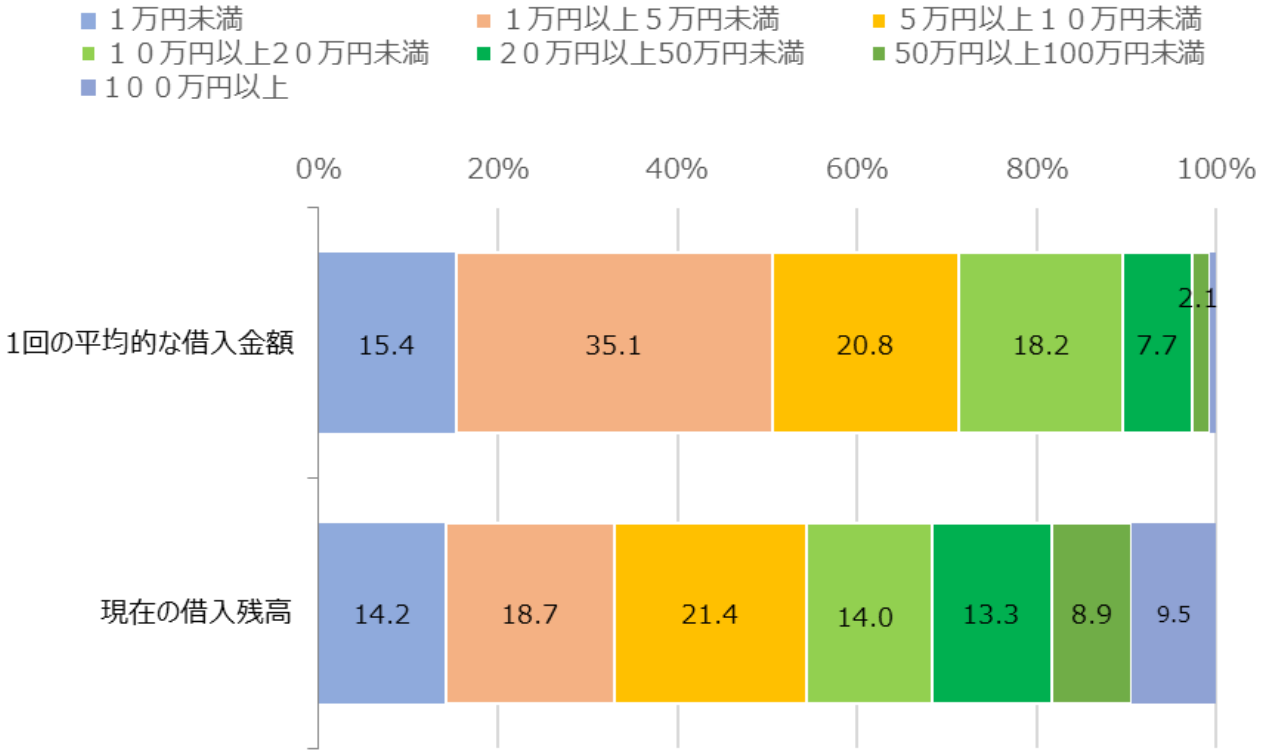
キャッシュレス決済のための借入金額と借入残高

サンプル毎
ウェイトバック

３年以内
借入経験者
現在残高あり
ベース

- 最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の1回の平均的な借入金額は「１万円以上５万円未満」が最も多く35.1%となっており、５万円以下で約半数を占める。
- 最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した人の現在の借入残高は「５万円以上１０万円未満」が最も多く21.4%となっている。

最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の
１回の平均的な借入金額　および現在の借入残高



キャッシュレス決済のための借入利用先・借入先選定理由

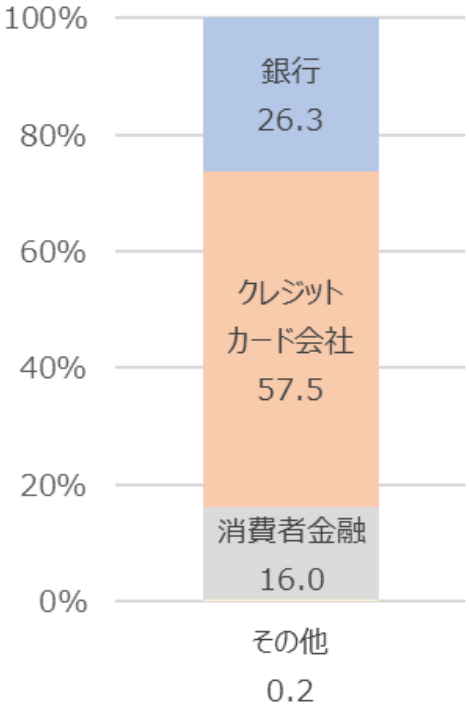
サンプル毎ウェイトバック

３年以内借入経験者現在残高ありベース

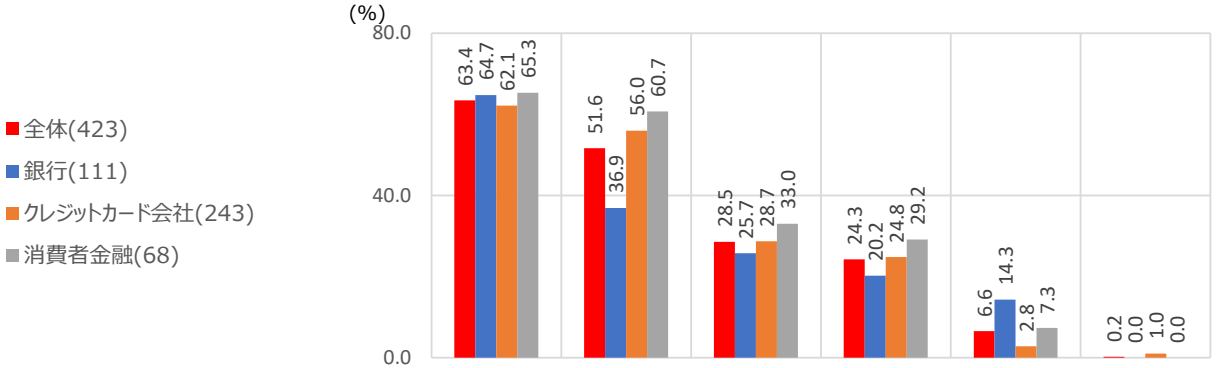
■ 最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の主要借入先は「クレジットカード会社」が最も多く57.5%となっている。

■ その際の選定理由としては、いずれの借入先も「手続きが簡単で、手軽に借入れできるから」が最も多くなっている。

最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の主要借入先



最近３年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の主要借入先の選定理由



	n=	手続きが簡単で、手軽に借入れできるから	すぐに借りられるから（入金までのスピードが早い）	少額から借りることができるから	窓口に行く必要がないから	金利が低いから	その他
全体	423	63.4	51.6	28.5	24.3	6.6	0.2
銀行	111	64.7	36.9	25.7	20.2	14.3	0.0
クレジットカード会社	243	62.1	56.0	28.7	24.8	2.8	1.0
消費者金融	68	65.3	60.7	33.0	29.2	7.3	0.0

無登録ファクタリング事業者利用状況のまとめ

無登録ファクタリング事業者利用状況

追加有職者スクリーニングによるサンプルを含む

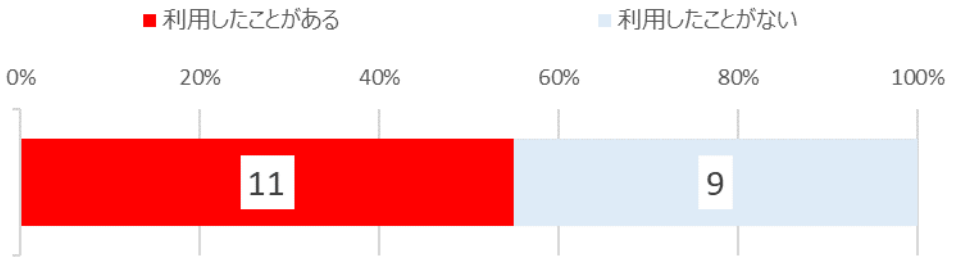
事業主かつファクタリング（売掛債権）利用者ベース

■ 貸金業の登録を受けずにファクタリングを装って貸付を行う事業者からの当該サービスを最近３年以内に利用したことのある人は、ファクタリング（売掛債権）を３年以内に利用した事業主20名のうち11名（55.0%）となっている。

※事業主は「個人事業主（自営業、SOHO含む）」、「経営者・役員」「農林漁業」

貸金業の登録を受けずにファクタリングを装って貸付（※）を行う事業者からの当該サービスを最近３年以内に利用した人

※売掛債権の買い取りを装い、債権を担保にした貸付を行うもの。同債権の売り主をして売掛債権を回収させた後、回収した売掛金を原資として返済させるとともに、債務者の不払いリスクを売り主が負うものは、ファクタリングを装ったヤミ金融の可能性が高い。



（n=20）
単位　人

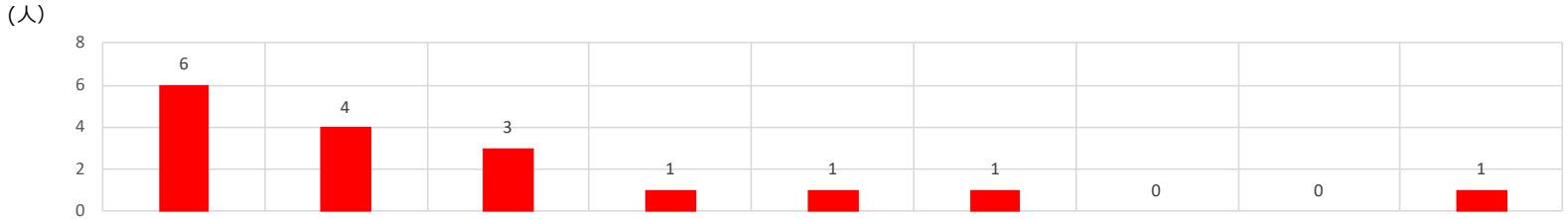
無登録ファクタリング事業者 取り立て状況

追加有職者スクリーニングによるサンプルを含む

無届ファクタリング利用者ベース

■ 貸金業の登録を受けずにファクタリングを装って貸付を行う事業者からの当該サービスを最近３年以内に利用した事業主9人のうち、８人が過剰な取り立てを受けた経験があり、うち６人は「正当な理由なく、社会通念に照らし不適当と認められる時間帯（午後9時から午前8時までの間）に、電話や自宅訪問等をされた」経験をしている。

取立てを受けた経験



	正当な理由なく、社会通念に照らし不適当と認められる時間帯（午後9時から午前8時までの間）に、電話や自宅訪問等をされた	自宅や勤務先からの退去を求めたにもかかわらず、退去してもらえなかった	正当な理由なく、勤務先に電話や訪問等をされた	正当な理由なく、勤務先に電話や訪問等をされた	弁済していない事実やその他の個人情報を他人に伝えられた	自分以外の方（家族等）に弁済を要求された、又は、家族等からお金を借りて弁済することを求められた	威迫された	その他、自分の私生活若しくは業務の平穏を害するような言動があった	左記のような言動を伴う取立てを受けたことはない
人数	6	4	3	1	1	1	0	0	1
比率（%）	54.5	36.4	27.3	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1

貸付自粛制度の認知・利用状況のまとめ

貸付自粛制度の認知・認知経路

全体算出ウェイトバック

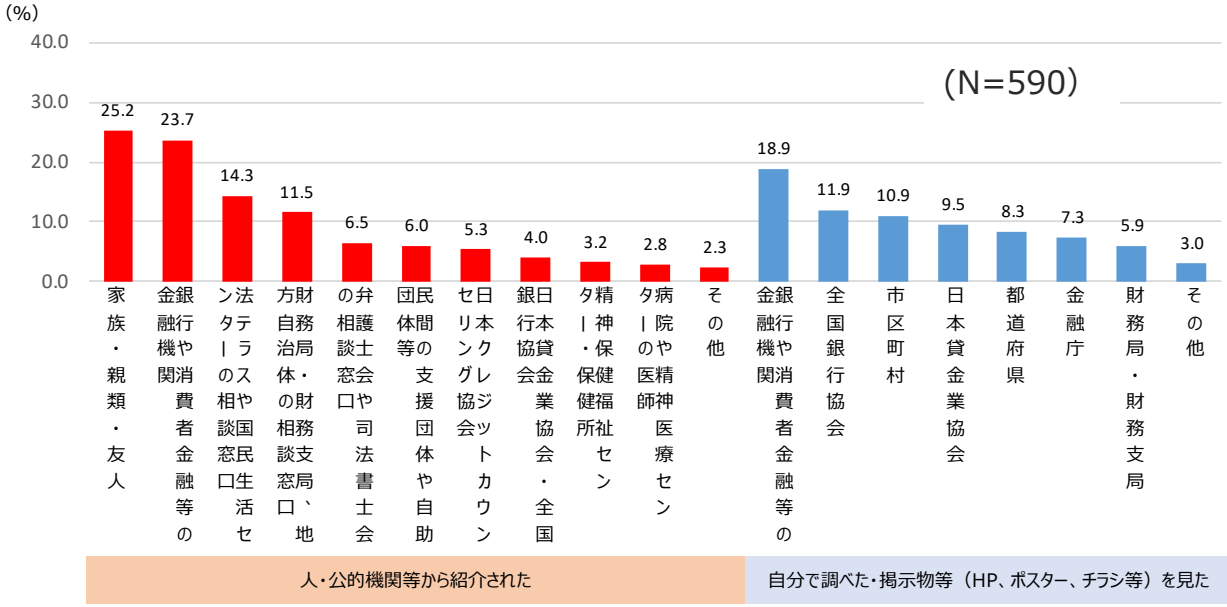
サンプル毎ウェイトバック

- 貸付自粛制度の認知は全体（ウェイトバック後）で14.7%となっている。
- 認知経路は「家族・親類・友人」からの紹介が25.2%で最も多く、次いで「銀行や消費者金融等の金融機関」からの紹介（23.7%）、「銀行や消費者金融等の金融機関」を通じての認知（18.9%）となっている。

貸付自粛制度の認知（P21一部再掲）

				日本貸金業協会・全国銀行協会による貸付自粛制度	
				認知計	詳細認知
全体			4025	14.7	2.5
３年以内借入経験者			1654	49.2	19.2
	現在の借入残高	年収の1/3を超える	142	35.8	9.0
		年収の1/3以下	898	43.6	13.6
		借入残高不明	501	66.9	34.0
		借入残高なし	113	32.1	11.1
３年以内借入経験者以外			2371	12.8	1.6
	過去の経験	３年以前に経験あり	215	24.1	5.1
		過去に経験なし	2156	11.7	1.3

貸付自粛制度の認知経路



貸付自粛制度の利用経験

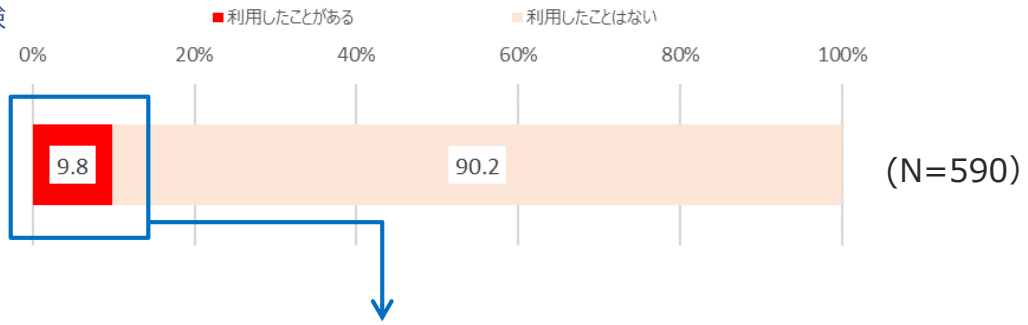
全体算出
ウェイトバック

サンプル毎
ウェイトバック

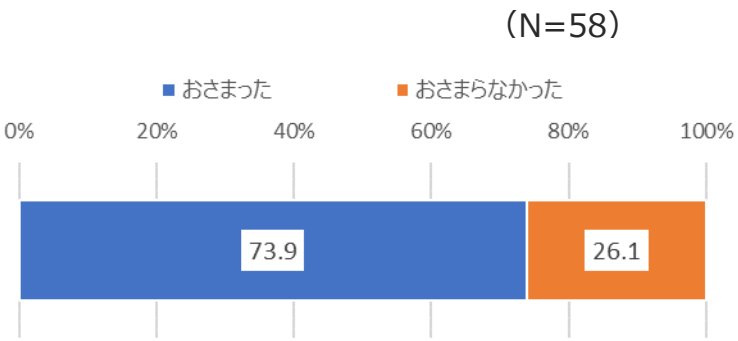
貸付自粛制度
認知者ベース

- 貸付自粛制度を認知している人の中で、利用経験があるのは9.8%となっている。
- 貸付自粛制度の利用者の73.9%が、借り過ぎや借入癖が「おさまった」としている。
- 貸付自粛制度の利用者のうち「撤回したことはない」は38.0%となっている。

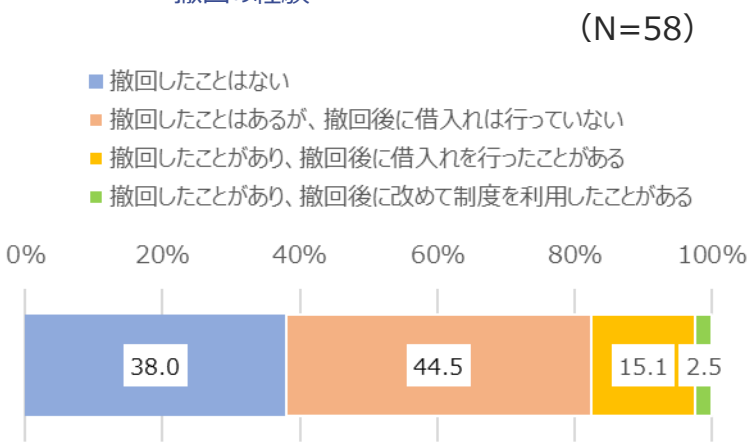
貸付自粛制度の利用経験



借り過ぎや借入癖の抑制効果



撤回の経験

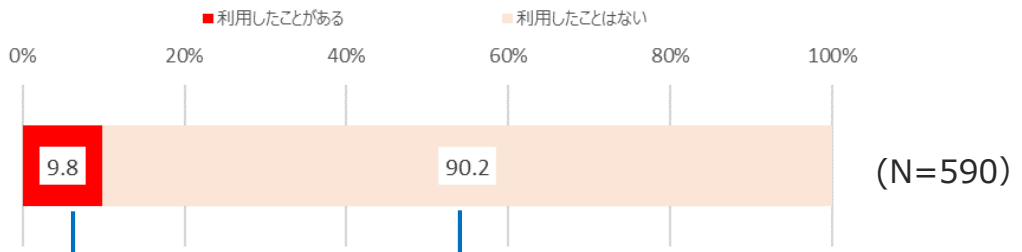


貸付自粛制度の利用・非利用理由

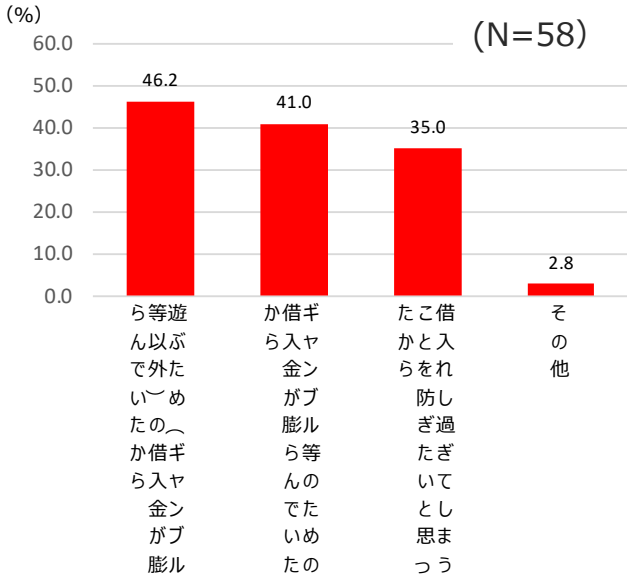
全体算出ウェイトバック　サンプル毎ウェイトバック　貸付自粛制度認知者ベース

- 貸付自粛制度を利用した人の中で、利用理由は「遊ぶため（ギャンブル等以外）の借入金が膨らんでいたから」が最も多く、46.2%となっている。
- 貸付自粛制度を知っているが利用したことのない人の中で、利用しない理由は「自分で借入れを制御できると思ったから」が最も多く、25.2%となっている。

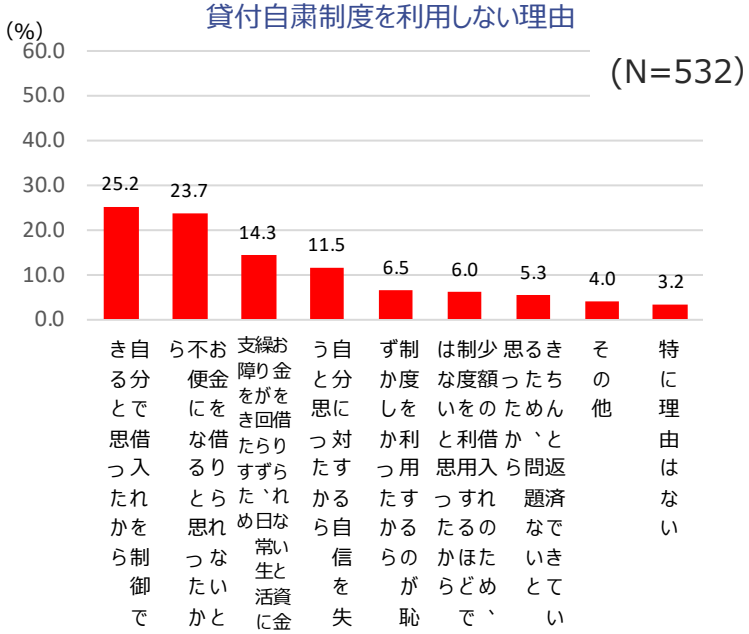
貸付自粛制度の利用経験



貸付自粛制度を利用した理由



貸付自粛制度を利用しない理由



ギャンブル等を目的とした借入経験者のまとめ

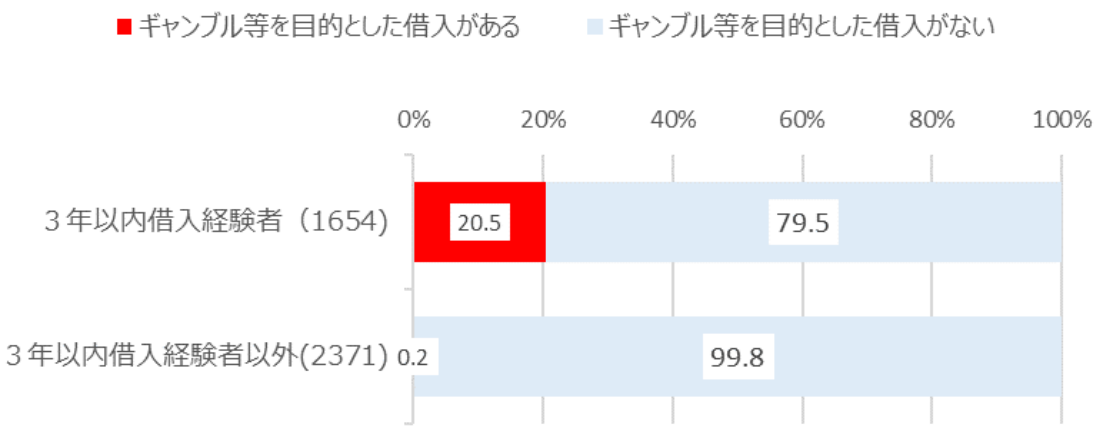
ギャンブル等を目的とした借入者の比率

サンプル毎
ウェイトバック

- 「ギャンプル等を目的とした借入経験者」は３年以内借入経験者の20.5%となっている。 ３年以内借入経験者以外にはほとんどいない。
- なお、全体を推定するためのウェイトバックを行おうとすると、３年以内借入経験者以外の「ギャンブル等を目的とした借入経験者」のサンプルが５名と非常に少ないため、５名分の誤差が大きく影響してしまうリスクがある。よって以降の集計では全体算出ウェイトバックは行わない。

『ギャンブル等を目的とした借入経験者』
最近3年以内に、「銀行のカードローン」「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ（個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」「商工ローン（事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」「各都道府県の社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度」「手形割引業者」「SNS 等を利用した個人間融資」「クレジットカードのショッピング枠の現金化」「後払い（ツケ払い）現金化」「先払い買取現金化」「ファクタリング（給料債権）」「無登録業者（ヤミ金融）からの借入れ」「ファクタリング（売掛債権）」の
いずれかで「ギャンブル等の元手が足りなかったため」を目的とした借入経験がある方。

ギャンブル等を目的とした借入がある人の比率



ギャンブル等を目的とした借入の借り入れ金額と借入残高

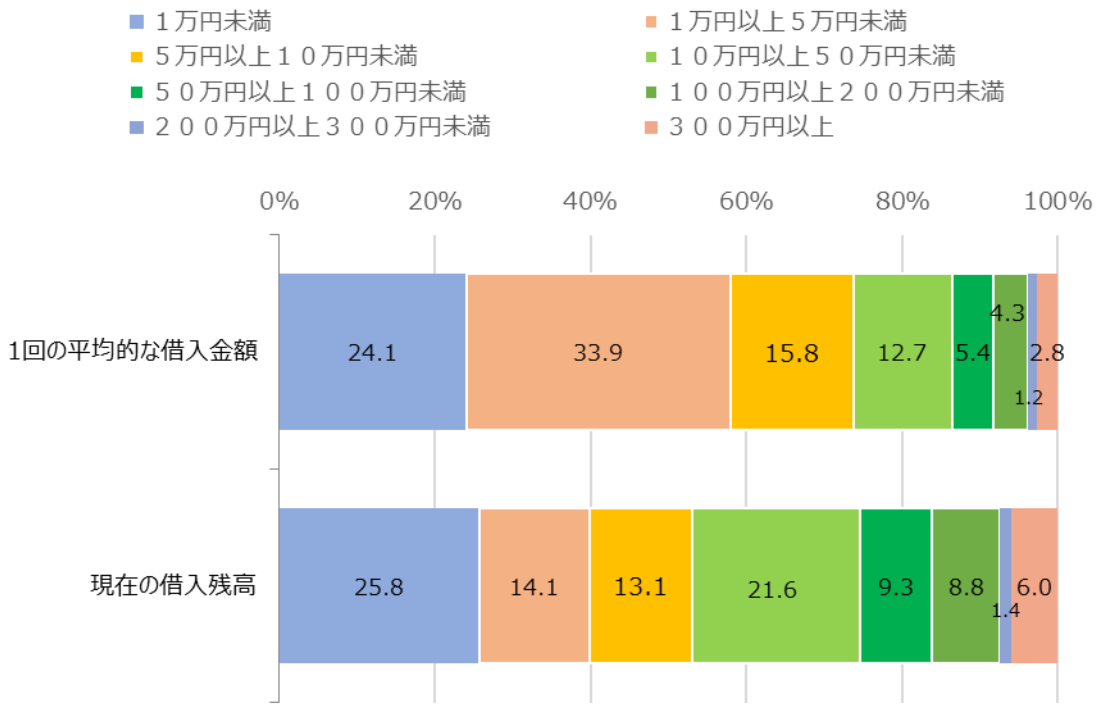
サンプル毎
ウェイトバック

ギャンブル等を
目的とした
借入者ベース

- ギャンブル等を目的とした借り入れの１回の平均的な借入金額は５万円未満が約６割になっている。
- ギャンブル等を目的とした借り入れの現在の借入残高は「１万円未満」が25.8%で最も多く、次いで「10万円以上50万円未満」21.6%となっている。

ギャンブル等を目的とした借入の１回の平均的な借入金額
および現在の借入残高

(N=344)



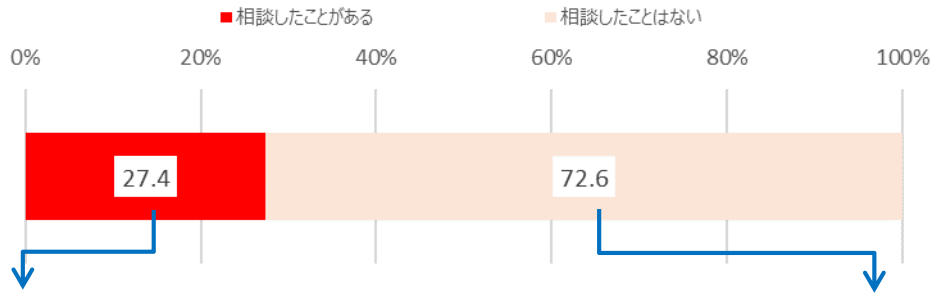
ギャンブル等を目的とした借入経験者の相談状況

サンプル毎ウェイトバック

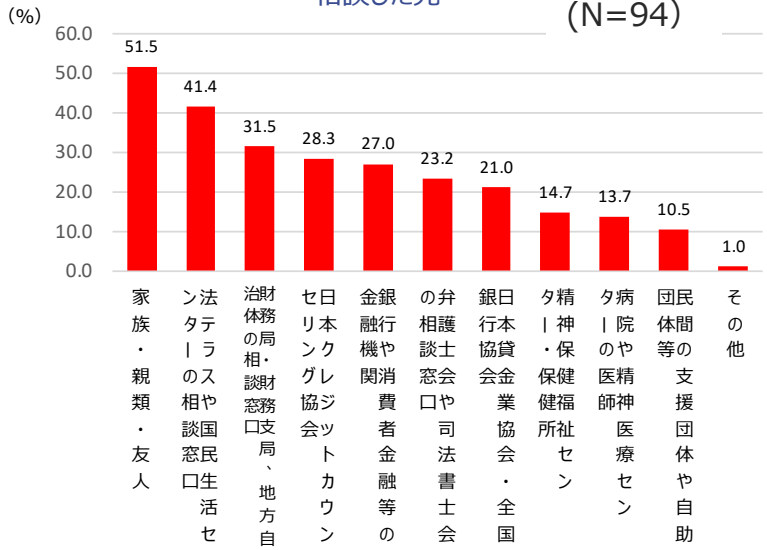
ギャンブル等を目的とした借入者ベース

- ギャンブル等を目的とした借り入れのある人で、ギャンブル等や遊びのための借入れや、ギャンブル等にのめりこんでしまうことについて誰かに相談したことがあるのは27.4%となっている。
- 相談した先としては「家族・親類・友人」が最も多く、51.5%となっている。
- 相談しない理由としては「相談する必要性を感じなかったから」が最も多く、44.8%となっている。

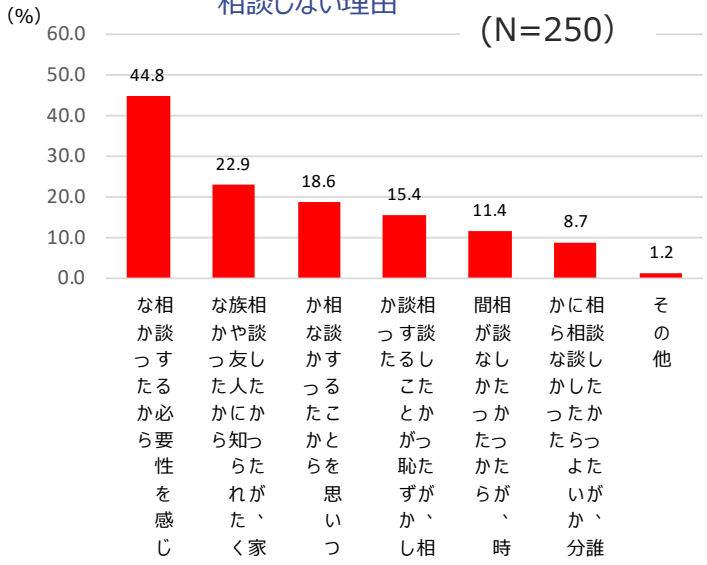
ギャンブル等や遊びのための借入れや、ギャンブル等にのめりこんでしまうことについての相談経験　(N=344)



相談した先　(N=94)



相談しない理由　(N=250)



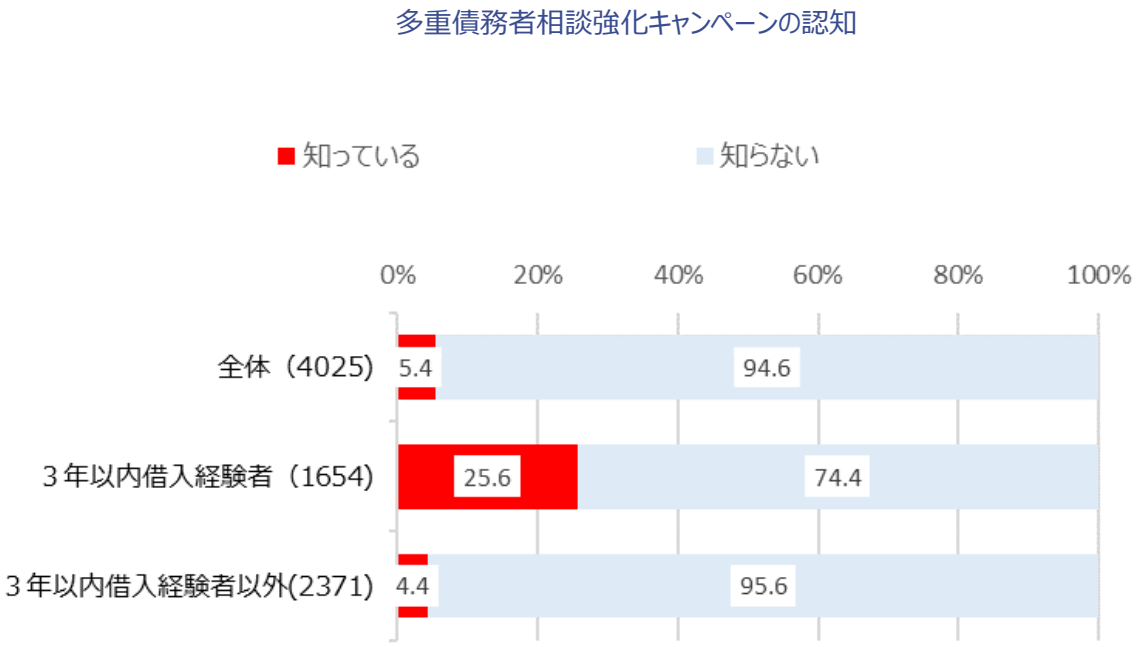
多重債務者相談強化キャンペーンのまとめ

多重債務者相談強化キャンペーンの認知

全体算出
ウェイトバック

サンプル毎
ウェイトバック

■ 多重債務者相談強化キャンペーンの認知は、３年以内借入経験者で25.6%、全体（ウェイトバック後）で5.4%となっている。



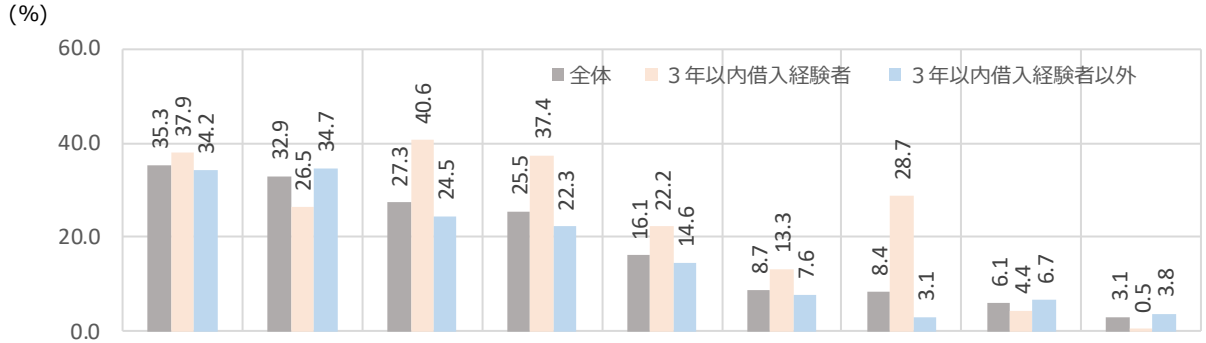
多重債務者相談強化キャンペーンの認知経路

全体算出ウェイトバック

サンプル毎ウェイトバック

■ 多重債務者相談強化キャンペーンの認知経路は、３年以内借入経験者では「金融機関でポスター・リーフレットを見た」が40.6%で最も多く、全体（ウェイトバック後）では「地方自治体のHPを見た」が35.3%で最も多くなっている。

多重債務者相談強化キャンペーンの認知経路



	(N)	地方自治体のHPを見た	インターネット広告を見た	金融機関でポスター・リーフレットを見た	金融庁・財務局・財務支局のHPを見た	地方自治体の窓口でポスター・リーフレットを見た	SNSの投稿を見た	財務局・財務支局の窓口でポスター・リーフレットを見た	家族、知人に紹介された	その他
全体	379	35.3	32.9	27.3	25.5	16.1	8.7	8.4	6.1	3.1
３年以内借入経験者	423	37.9	26.5	40.6	37.4	22.2	13.3	28.7	4.4	0.5
３年以内借入経験者以外	104	34.2	34.7	24.5	22.3	14.6	7.6	3.1	6.7	3.8

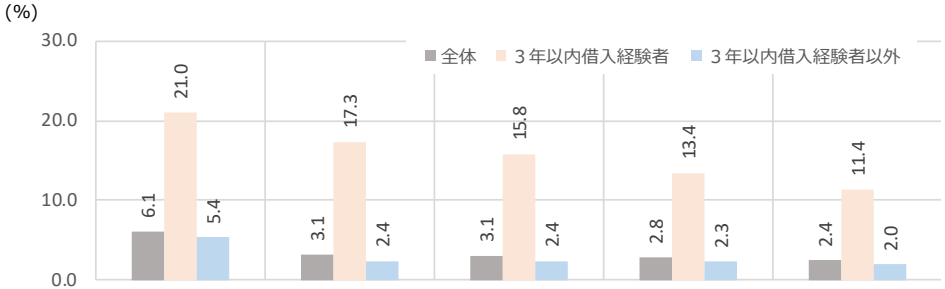
多重債務者相談強化キャンペーン啓発チラシの認知

全体算出
ウェイトバック

サンプル毎
ウェイトバック

■ 啓発チラシの認知は「家計のお悩み相談してみませんか？」が最も多く、３年以内借入経験者では21.0%、全体（ウェイトバック後）では6.1%となっている。

啓発チラシの認知度（見たことがある比率）



	(N)	家計のお悩み相談してみませんか？	＃個人間融資に要注意！	「今すぐ現金」「手軽に現金」にご注意ください！（いわゆる 後払い（ツケ払い）現金化 に要注意）	商品の買取りをうたって高額な違約金を請求する悪質な業者にご注意ください！～いわゆる「先払い買取」現金化に要注意～	「のめり込み」にはくれぐれも御注意を
全体	4025	6.1	3.1	3.1	2.8	2.4
３年以内借入経験者	1654	21.0	17.3	15.8	13.4	11.4
３年以内借入経験者以外	2371	5.4	2.4	2.4	2.3	2.0